

市が魅力を、価値を、エネルギーを「私に」伝える情報紙

広報とめ
トゥー・ミー

To 4 Me

Apr 2018
Vol.275



【ときめき人】
佐藤大典さん

【特集】
With Me With Us
ともに私たちと、明日へ

【ズームアップ】
菅原茉倫

【今月の表紙】
米川の水かぶりから
(関連記事20ページ)





With Me 特集 地域包括 ケアシステム

With Us

ともに私たちと、明日へ

※【団塊の世代】第二次世界大戦直後(1947~1949年)の第一次ベビーブームが起きた時代に生まれた世代を指す。

超高齢化時代を 地域で支える包括ケア

現在、市の65歳以上の高齢者人口は、264,577人(2018年2月末現在)。人口80,874人に対する割合は32.7%となっている。人口比率の高い「団塊の世代(※)」が高齢者世代に突入。本市は、誰もが経験したことのない超高齢化時代に直面している。

本市の将来の推計人口は、15年から40年までの25年間に、80歳以上の高齢者人口が106.9%に増加、20~59歳の就労世代人口が69.0%まで減少すると予測されている。15年には1人の高齢者を3.9人の就労世代が支えていたのに対し、40年には2.6人まで減る計算になる。

厚生労働省の推計では、団塊の世代が75歳以上になる25年以降は、65歳以上のうち5人に1人が認知症になると見込んでいる。このことから、介護や医療を必要とする人が増加することで、サービスを提供する人材や財源などの不足が懸念されている。また、独居高齢者も増加傾向にあり、生きがいの低下をはじめ、消費者被害の増加、認知症の進行の恐れがあるなど、新たな問

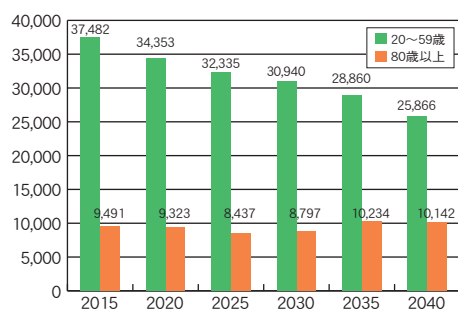


現在、登米市の人口は80874人。このうち65歳以上の高齢者は26457人で、高齢化率は32.7%という状況を迎えている。

生活スタイルも変わり、個人主義、核家族化が進み、独り暮らしの高齢者も増加傾向にある。年を取っても生きがいや喜びを持ち、元気に生活することは全ての市民の願い。

今号では「地域包括ケアシステム」を通じて、いつまでも自分らしく、幸せに暮らすために必要なことを考える。

就労世代(20~59歳)と80歳以上の人口比較



多くの高齢者が、核家族化の進展など、社会の構造が変わっても「最期まで住み慣れた地域で暮らしたい」と口にする。自分たちが生まれ育ち、長く暮らしてきた場所で生活したいのは、人として当たり前前の考え。

市は、高齢者が地域で生き生きと生活できるよう「地域包括ケアシステム」の構築を進めている。地域の「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」を一体的に提供できる体制を整備していくもの。地域で求められているものはさまざま。年を取っても生きがいや喜びを持ち、元気に生活するために、各地域でさまざまな取り組みが進められている。

題への対応を考えなければならぬ。

住み慣れた登米市で 生涯自分らしく暮らすために

Live In Tome
One's Life

地域包括支援センターは、市で委託した法人が運営。社会福祉士、主任介護支援専門員などの専門職を配置している。高齢者やその家族などの介護の悩みだけではなく、福祉、健康、医療などの総合的な相談をサポートする。



地域で取り組む 連携した支援体制を

市は、昨年1月に市内65歳以上の高齢者15,000人を対象に「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」を実施した。独り暮らしや夫婦だけの世帯が35%を越え、要介護状態になる要因として、認知機能の低下以外に、うつや閉じこもりの割合が高い状況にあった。

近年は、独り暮らしの高齢者を狙った架空請求、訪問販売などの特殊詐欺も多い。高齢者一人では気付けないことも多く、常に地域が耳を傾け、情報交換することが大切だ。人との交流は、社会参加のきっかけや閉じこもりを防ぐ効果にもつながる。

市は、委託により地域包括支援センターを市内5カ所、分室を4カ所に設置。社会福祉士、主任介護支援専門員などを配置し、相談・支援窓口として高齢者をサポートしている。

また、16年度から、生活支援体制整備事業を登米市社会福祉協議会に委託。各生活圏域ごとに「生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）」を配置し、地域で高齢者を支える体制づくりを進めている。

地域のつながりは登米市の宝物 「お互いさま」の気持ちで助け合い

登米市社会福祉協議会では、市から委託を受け、地域包括支援センターを設置している圏域ごとに生活支援コーディネーターを配置。地域の人たちと支援者、サービスをつなぐ取り組みを進めています。

介護保険事業は、サービスが充実し、利用しやすくなった反面、地域のつながりが薄れるきっかけになったとも言われています。一昔前であれば、要介護になった高齢者は家族が面倒を見ていました。家族で手が回らなくなると、親戚や近所の人たちが手伝うことが珍しくありませんでした。

日々のつながり、交流、福祉活動などは、支え合いの基盤であり、地域の宝物です。隣近所でのあいさつやお茶飲み

は、ゆるやかな見守りにつながります。16年度から開始した生活支援体制整備事業では、こういった地域の宝物を探し、各圏域に設置した協議体で話し合い、地域の支え合い活動の活性化に取り組んできました。

特段、新しいことを始めた訳ではありません。登米市の人たちは昔から「お互いさま」の気持ちで助け合い、生活してきました。これまでのつながりを大事にしなが、ちょっとだけ隣近所のことにも気かけようという意識づくりを進めているだけです。

少子高齢化はこれからも続きます。高齢者だけではなく子どもたちまで、全ての世代に地域が連携していく重要性を伝えていくのが今後の課題です。



登米市社会福祉協議会
本部地域福祉課地域福祉係主事兼
生活支援コーディネーター

伊藤 修さん(38)



中田・石越地域包括支援センター
■中田総合支所内 ☎0220(34)7611
■石越分室(石越総合支所内) ☎0228(34)4151



迫地域包括支援センター
■迫総合支所内 ☎0220(22)1152

高齢者の暮らしを サポートする相談窓口 地域包括支援センター

高齢者や家族の皆さんなどの介護に関する悩みや問題を一緒に考え、必要な制度やサービス、地域で開催している集いの場の情報などをお知らせします。

相談日：毎週月～金(祝日、年末年始を除く)
受付時間：午前8時30分～午後5時

相談・啓発活動で暮らしを支援

地域包括支援センターでは、高齢者や家族の皆さんなどから、介護、福祉、健康、医療などのさまざまな相談を受け付け、必要な機関につなぐ支援をしています。

健康寿命を延ばすには、介護予防を心掛けた生活が大切です。転倒予防、低栄養改善、口腔ケア、認知症予防、閉じこもり予防、うつ予防など、センターでの相談受付はもちろんですが、地域や家庭に出向いて啓発活動をしながら、高齢者の自立支援をしています。

センターでは「認知症サポーター養成講座」も実施。認知症について正しく理解し、地域で温かく見守る応援者になるための講座ですので、お気軽にお問い合わせください。



米山・南方地域包括支援センター
管理者兼社会福祉士
日野博子さん(48)

With Me 特集 地域包括ケアシステム
With Us
ともに私たちと、明日へ



米川診療所院長
登米市地域包括ケア体制推進会議会長
木村康一さん(62)

お互い支え合い見守ることが 住み良い地域づくりのポイント

いる。
登米市地域包括ケア体制推進会議会長を務める米川診療所の木村院長は「慣れ親しんだ場所です。自分らしく生活するためには、共に地域で支え合う意識づくりが大切」と人のつながりを重視す

る。「多職種が連携し、介護・医療サービス体制の構築を進めています。病気にならないことが一番です。自分の健康を維持する気持ちを、いかに強く持つかが大事。また、健康寿命を延ばすには、適度な運動やバランスの良い食事はもちろんですが、地域ぐるみの交流が欠かせません」。

市内では、住民自ら取り組むミニデイサービスやシニアサロンなど、さまざまな集いの場があり、健康増進、介護予防などを目的にレクリエーションが開催されている。

「地域で開かれていくレクリエーションでは、特に男性の参加者が少ないので、積極的に誘い合って参加してほしいですね。また、高齢者同士だ

けではなく、子どもたちとの交流も高齢者の生きがいづくりにつながります」と多様な集いの場の必要性を説く。

「老化に伴う認知症は、誰かの世話にならなければならぬ病気です。家族や近所の人たちが注意することで、より早い発見につながります。人口減少や高齢化など、負の側面ばかり目立ちますが、認知症に限らず、一人一人が優しさを持ち、支え合い見守ることが、住みよい地域づくりのポイントになると思います。今日生まれた赤ちゃんも、5年後は高齢者。自分の最期を迎える地域であることを、住民誰もが考えていかなければなりません」と将来を見据えた対応が必要と語る。



津山・豊里地域包括支援センター
■津山老人福祉センター内 ☎0225(68)3780
■豊里分室(豊里総合支所内) ☎0225(76)4811



米山・南方地域包括支援センター
■米山総合支所内 ☎0220(29)5821
■南方分室(南方庁舎内) ☎0220(58)4311



東和・登米地域包括支援センター
■東和総合支所内 ☎0220(53)4811
■登米分室(登米総合支所内) ☎0220(52)5090



研修会で介護予防の基礎知識や誰でも簡単にできる体操などを学び、自分の健康だけでなく、健康なまちづくりのインフルエンサーとして、地区のお茶飲み会やミニデイサービス、シニアサロンなどに足を運ぶ元気応援コンシェルジュ

Live In Tome
Usual Place

みんな気軽に寄り合える いつもの場所で

市内各地域で、健康増進、介護予防や閉じこもり防止などを目的に、お茶のみ会、ミニデイサービスやシニアサロンなどが定期的に開かれ、気軽に寄り合える居場所づくりが進められている。
元気高齢者を増やす取り組みや交流は、担い手や健康づくり、食生活改善など、さまざまなスタイルで広がりをみせる。

地域の担い手と 楽しい居場所づくり

地域を支えるには、たくさん
の担い手がほしい。その担
い手の一つが「元気応援コン
シェルジュ」。東北文化学園大
学と市の提携事業で14年度か
ら毎年10回程度研修会を開催
し、現在69人が登録している。
学んだことや情報交換した内
容は地区に持ち帰り、「和・話
輪（介護予防自主活動推進）
リーダー」として伝達活動を展
開。元気なまちづくりのイン
フルエンサー（影響を与える
人）として、地区のお茶飲み会
やミニデイサービス、サロン
などで活動中だ。

で、お茶飲み会、健康体操、
ゲーム、カラオケなどで楽し
むミニデイサービスやシニア
サロンなど、地域交流の場が
広がっている。
介護施設などでは、認知症
の人やその家族など、誰でも
参加できる集いの場「オレン
ジ（認知症カフェ）」が開かれ
ている。恵泉会登米デイサー
ビスセンター遠山荘では、オ
レンジカフェ「プチ・ルポえ
ん」を定期的に開催。介護や
認知症などの悩み相談や情
報交換など、お茶やお菓子を
囲みながら、楽しい時間を過
ごすことができる。ケアマネ
ジャーや介護福祉士などの専
門職も参加。地域の皆さんの
工夫で、気軽に寄り合えるさ
まざまな居場所づくりが進め
られている。



介護や認知症などの相談ができるオレンジカフェ

恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘で定期的に開催している「プチ・ルポえん」。お茶やお菓子を囲みながら、楽しい時間を過ごすことができる。
【問い合わせ】恵泉会登米デイサービスセンター遠山荘 ☎0220-23-9399

With Me 地域包括
特策 ケアシステム
With Us
ともに私たちと、明日へ

健康生活に必要な運動と食事

必要なのは居場所だけではない。健康に暮らすためには、適度な運動と適切な食事が欠かせない。

イオンタウン佐沼と市は、共催で「タウンウォーキング」を開催している。東北文化学園大学医療福祉学部の佐藤敬広准教授を講師に、正しい歩き方を学ぶ。「店内を歩くので、天候や気温に左右されず、体を動かすのはとてもいい場所。程よく体を動かす有酸素運動ができるので、気軽に参加してほしい」と話す。ウォーキングだけでなく、簡単な柔軟体操で血行も促進。参加者は「一人で歩くよりも



イオンタウン佐沼店内でウォーキング



食生活改善推進員は食育推進の担い手

一人で歩いたほうが楽しい」とリピーターも増えている。

「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、栄養や健康について学び、食生活の改善に取り組んでいる食生活改善推進員。地区の行事やミニデイサービスなどで、試飲などを提供しながら適塩・低栄養予防を推進している。登米市食生活改善推進協議会の佐藤律子会長は「現在は、生活習慣病の増加が大きな問題。その原因は、日頃の食生活に深い関係があります。普段からカリウムを多く含む野菜や果物などを食べ、適塩の食事を心掛けてほしい」と話す。

担い手育成、居場所づくり、健康管理など、地域で支える体制は徐々に広がっている。

楽しい時間を共有していきたい

元気応援コンシェルジュ
東和町・米川1区

菅原トヨ子さん
(72)



東和町米川1区は、約100世帯、260人が生活しています。以前、保健活動推進員の活動をしていた際、地区の高齢化率が増加傾向にあったことから、介護予防につながる健康づくりの必要性を強く感じていました。

今では、介護予防や健康に関する知識や技術を学ぶため、市主催の介護予防事業「和・話・輪研修会」や、市と東北文化学園大学が提携して実施している「元気応援コンシェルジュ研修会」に定期的に参加しています。

学んだことは地区に持ち帰り、集会所で月1回「いきいき元気教室」を開催しています。教室を始めてから今年で9年目になりますが、地区の人たちが継続して気軽に参加してくれます。教室では「無理をしない」ことがモットー。

話語りをしにお茶飲みに寄っていただき、介護予防や健康の話をしたり、健康体操やゲームを通じて筋トレ、脳トレをし



無理せず気軽に楽しむ「いきいき元気教室」

たりなど、無理のない活動をしています。

ただ家に閉じこもって、何もせず過ごす時間はもったいないこと。自宅から集会所まで出てくるだけでも、介護予防につながります。長生きしても、寝たきりの生活では楽しくないと思います。

高齢者が元気であれば、家庭の若い人たちも安心して仕事ができます。これからも地域の人々が元気になれるように、無理のない環境で楽しい時間をみんなで共有していきたいと思います。

会話をしながら一人よりみんなで

小野寺喜久雄さん(76)
(中田町・小島)



日頃から少しでも体を動かしてないと、痛いところが出てくるので、常に動かすようにしています。寝返りだけでも運動になりますよ。ミニデイは一人でやるより、会話をしながら体を動かせるので楽しいです。無理をしない程度に長く続けていきたいと思っています。

みんなの顔を見ただけで楽しい

佐々木ナミ子さん(77)
(中田町・小島)



5年ぐらい前からミニデイに参加しています。毎回楽しみにしているので、開催案内が届くのが待ち遠しいほど。体操だけではなく、折り紙や間違い探しなど、いろんなことをしています。自宅で留守番をしている日が多いので、みんなの顔を見ただけでも楽しいですね。



With Me 特集 地域包括 ケアシステム

With Us

ともに私たちと、明日へ

誰もが夢と希望を
持ち続ける地域に

市は、団塊の世代が75歳になる2025年を見据え、「登米市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画」策定の準備を進めている。高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく安心して暮らせる環境づくりに向けて取り組むためだ。

計画では、①高齢者の生きがい対策の充実②介護予防の推進と安心して生活できる環境づくり③適切なサービスや支援が受けられる基盤整備の3つを基本目標に掲げ、その全てが地域が密接に関わるものとなっている。

2月21日、中田町の小島構造改善センター館内には、笑い声が響いていた。この日は、小島行政区のミニデイサービスが開かれ、地域の高齢者が登米市社会福祉協議会職員と一緒に、口腔体操や玄米を布袋に詰めたダンベルなどで、運動を楽しんだ。

企画した佐々木恭平区長は、職員が話す健康管理法や介護予防について、聞き入っていた。「自分たちが小さい頃は、誰の家に行っても、近所のおじいさん、おばあさんが集まり、楽しそうにお茶を飲ん

「ミニデイが始まるまで、まだ時間が早いかな。早く行き過ぎて誰も来てないよね」。そうつぶやきながら、自宅の玄関を行ったり来たりしていた参加者の橋浦みさをさん(右から1番目)。会場に到着したのは、一番最後だった。会場のドアをそっと開けると、そこにはいつもの顔が待っていた。何気ない会話にほほを緩める。「ほっ」とする空間、そんな集いの場が地域に広がる。



で話をしていた。あのときのような場所を地域に作りたい。楽しい場所であれば、苦手な運動に取り組んだり、健康管理なども考えたりしやすいと思うので。参加してもらえらるメニューを考えるのが、私たちの役割」と、ペンを走らせながら笑顔を見せた。

高齢者が、地域で生き生きと過ごすには、介護保険サービスや公的支援だけでは、本当に必要なものは賄えない。人にはみんな「心」があり、これが通い合ったものでなければ、幸せにはつながらない。佐々木区長がミニデイサービスを企画し、開催しているのは、参加者が満足し、役立つものを提供したい思いがあり、自分事として考えているからだ。

誰もがいずれば高齢者になる。そのときに、住み慣れたこの地で、自分らしく幸せに生活していくためには、これまでのつながりを大事にしながら、お互いが共に自分のこととして心を通わせ、支え合いの輪を広げていく必要がある。

子どもたちがみんな夢を持っていくように、高齢者も明日の希望を持って生きていく地域。笑顔あふれるこのまちでいつまでも、ともに私たちがと。

学習環境充実に向けての再編

市教育委員会は1月15日から25日まで、市内9町域で「学校再編に係る地域座談会」を開催し、小中学生の保護者、地域住民合わせて251人が出席しました。

現在、全国的に少子化が進み、本市も合併以降、人口が減少しています。市内小学校の児童数は、今後6年間で500人以上減ると推計されています。

このような状況から、皆さんに市の学習環境の現状と学校再編の基本的な考え方を説明。それらへの意見等を取りまとめ、学校再編基本構想策定に向けて準備を進めています。



地域座談会出席者数

会場	開催日	出席者数
迫公民館	1月15日	40人
登米公民館	1月16日	16人
東和総合支所	1月17日	42人
宝江ふれあいセンター	1月18日	50人
豊里公民館	1月19日	12人
米山農村環境改善センター	1月22日	25人
石越公民館	1月23日	18人
南方公民館	1月24日	27人
津山老人福祉センター	1月25日	21人
合計		251人

児童・生徒のための学校づくり 地域の意見も取り入れ再編

本市の昨年5月現在の小学校児童数は3902人ですが、6年後には3375人と、500人以上減少する見込みです。児童数が減っていくことによって、教育活動に大きな変化が生じてきます。

児童数が少なくても多くても、それぞれメリット、デメリットがあります。本市では、基本的な考え方の通り、児童生徒が多様な考え方に触れ、

多くの仲間と切磋琢磨しながら成長していける学校づくりを目指していきたいと考えています。

このようなことから、子どもたちの学習環境の充実に向けて、学校再編基本構想を策定することとなりました。基本構想の準備に当たり、児童生徒の保護者だけではなく、地域の皆さんから意見を聴きました。現在、座談会で出た意見を取りまとめ、その内容を皆さんに示して、意見交換会を実施する予定です。

■学校再編基本方針(基本的な考え方)の要点

〈目指す学校像〉児童生徒が多様な考えに触れ、切磋琢磨することで社会の形成者としての基本的資質を伸ばすことのできる学校

〈適正規模〉小学校：12～24学級／中学校：6～18学級／クラス替えができる各学年2学級以上

〈適正配置〉小学校：町域に1校は配置／中学校：当面は町域に1校は配置しますが、今後は町域を超えた再編も検討

〈通学時間〉スクールバスを活用した場合を含め、おおむね1時間以内

市内小学校の児童数

町域	小学校	2017年5月末 児童数	2023年の 児童数
迫	佐 沼	683人	751人
	新 田	137人	120人
	北 方	199人	172人
登 米	登 米	206人	171人
	米 谷	109人	82人
東 和	錦 織	70人	51人
	米 川	66人	59人
中 田	石 森	117人	100人
	加賀野	316人	243人
	宝 江	107人	127人
	上 沼	183人	113人
豊 里	浅 水	93人	73人
	豊 里	338人	296人
米 山	中津山	165人	137人
	米 岡	132人	84人
	米山東	177人	122人
石 越	石 越	220人	179人
	南 方	188人	148人
南 方	西 郷	97人	83人
	東 郷	146人	167人
	柳 津	81人	54人
津 山	津 山	72人	43人
	計	22校	3902人



児童生徒の保護者だけでなく、多くの地域住民が出席し、意見交換をしていました。座談会だけでなく、再編に向けての情報は、市公式ホームページなどで随時発信していきます。



出席者に聴く



かずひろ
阿部和広さん(48)
津山町石貝

小学校のPTA役員をしています。今回は、地域の人たちがどれだけ関心を持ってきているか気になっていました。子どもたちのためにも、学校再編は必要です。地域の学校なので、多くの人たちが関わって、進めていくべきだと思います。

地域座談会の話し合いの状況(一部抜粋)

学校再編の基本的考え方

Q どのように再編を進める見通しなのか。

A 地域座談会での意見等を参考に、より良い教育環境を目指して「学校再編基本構想」を平成30年度中に策定する予定です。町域ごとの理想とする学校の在り方をまとめます。基本構想策定後、内容を皆さんに示して、意見交換会を実施したいと考えています。

Q 再編準備期間は、どれくらいだと望ましいか。

A 再編が決まり、再編準備委員会を設立してから、2年ほど時間あるのが望ましいと考えます。

Q 小学校を再編する場合、中心地区に新しい校舎を建てればよいと思うが。

A 学校施設に大きな損傷がなければ、耐用年数65年を基準に有効活用していきたいと考えています。

Q 子どもたちの通学時間を1時間以内にする根拠は何か。

A 通学時間1時間以内は、文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」を参考にしています。かなり広い町域もあり、その中で小学校の再編をすると、通学距離が基準の4倍を大きく超えることが考えられます。スクールバスを使っても、通学時間はおよそ1時間以内としています。

す。子どもたちの通学に過度の負担とならないよう、スクールバスの運行経路を工夫することなどを考えていきます。

Q 再編後は、放課後や長期休業時の子どもたちの受け入れ態勢をどのように考えているか。

A 放課後や長期休業時の子どもたちの居場所は、放課後子ども教室、放課後児童クラブや児童館が主なものです。再編後、児童数が増えた場合も、放課後子ども教室などの各種子育て支援策を活用して、受け入れ態勢を整えていきたいと思えます。

Q やむを得ず統合した場合に、廃校になった学校施設の活用計画をしっかりと考えてほしい。

A 統合後の学校施設の活用については、地域の皆さんと真剣に考えていかなければならない課題です。全国の事例を調べているところですが、新たな活用方法なども考え、皆さんに示していきたいと思えます。

学校運営について

Q 子どもたちを、安心して任せられる学校になってほしい。教育の質の向上はどう考えているか。

A 教員の指導力を高めるため、昨年度から業務改善

加速事業に取り組んでいきます。本年度は、学力学習状況調査の結果が全国トップクラスの秋田県能代市で、市内小中の校長が視察研修をしました。また、能代市から指導力に定評のある教員を招き、市内全教員を対象に研修会を開催し、模擬授業を実施したところです。市内全ての学校で、教員の指導力向上に向けて取り組んでいます。

Q 現在、コミュニティ・スクールに取り組んでいる。より充実した学習環境になるよう、コミュニティ協議会をパートナーにしてほしい。

A この意見を他の学校にも伝え、本市のコミュニティ・スクールが効果的に機能できるようにしていきたいと思えます。

地域振興について

Q 地域から小学校がなくなると、地域全体の活気が失われる。統合後の地域活性化について、どのように考えているか。

A 地域活性化は、教育委員会だけで進められることではありません。他部署等と連携しながら、進めていきます。これは、学校再編を進めていく中で、協議が必要な課題だと認識しています。

地域資源活用が評価

伊豆沼農産が振興部門賞

第6回富県宮城グランプリで、伊豆沼農産が「みやぎの食」振興部門賞を受賞し、市役所迫庁舎に同社の伊藤秀雄代表取締役が受賞報告に訪れました。

富県宮城グランプリは、産業の発展や地域経済の活性化への貢献が顕著な企業・団体・個人を表彰。伊豆沼農産は「伊豆沼ハム」などの海外輸出、伊豆沼のハスを使った化粧品など、地域資源を生かした商品開発、食農体験などで都市部からの誘客などが評価されました。伊藤代表取締役は「地元からの推薦で受賞できうれしい。食と農は厳しい環境ですが、新しいビジネスモデルを構築していきたい」と意気込みを語りました。



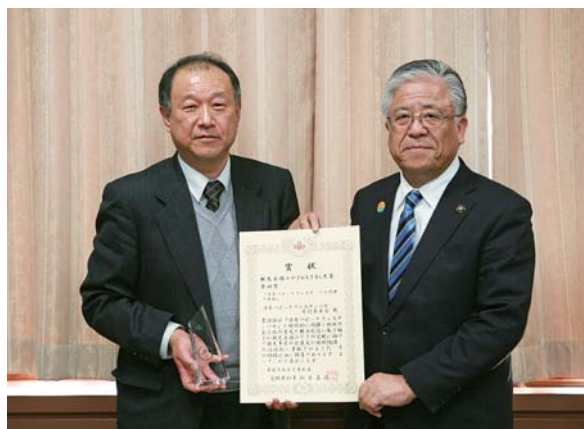
熊谷市長に受賞の喜びを報告する伊藤代表取締役(写真左)。本年度は、県内各市町村から16件の推薦があり5団体が受賞。

食文化発信が高評価

はっとフェス奨励賞受賞

「平成29年度観光王国みやぎおもてなし大賞」奨励賞を受賞した、日本一はっとフェスティバル実行委員会の飯塚哲朗委員長が2月6日、市役所迫庁舎を訪れ、熊谷市長へ受賞の報告をしました。

観光王国みやぎおもてなし大賞は、県が平成27年度に県全体の「おもてなし」の充実を目的に創設。同奨励賞は、観光での地域活性化モデルとなる優れた取り組みに贈られます。日本一はっとフェスティバルは、平成16年から開かれ、毎年2万人を超える来場者が全国の「はっと料理」を楽しむ、冬の一大イベント。本年も、12月2日に開かれることが決まっています。



飯塚委員長(写真左)は「取り組みが認められうれしい。今後も登米市の『はっと』継承のため頑張りたい」と意気込みました。

新歴史の発信に向け

新懐古館工事の安全祈願

「(仮称)新登米懐古館新築工事安全祈願祭」は2月6日、登米町寺池桜小路の建設予定地で開かれ、関係者ら約40人が出席し、工事期間中の安全を祈願しました。

1961(昭和36)年に建設された登米懐古館は、旧登米町の名誉町民の渡辺政人さんから寄贈されたもの。以来57年間、登米伊達家ゆかりの品々など200点を越える歴史的価値の高い文化財を展示、収蔵してきました。近年、施設の老朽化が著しかったことから、移転し整備することとなりました。新懐古館は、鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積が約824平方メートル。総工費は約7億7千万円で、平成31年9月ごろ完成予定です。



熊谷市長らがくわ入れをし、工事中の安全を祈願。新懐古館は、新国立競技場を手掛ける隈研吾建築都市設計事務所が設計。

若さで地域盛り上げ

南方改セで市青年文化祭

「登米市青年文化祭」(市青年文化祭実行委主催)は2月11日、南方環境改善センターで開かれ、市内の若者たちが郷土芸能などを披露し、来場者を楽しませました。

青年文化祭は、市内青年たちの活動発表を通じて、豊かな地域社会を創造するのが目的。舞台は、地元大嶽山観音太鼓で開演。佐沼鹿踊り、豊里風太鼓やのど自慢大会などに、客席から盛んに拍手が送られました。のど自慢大会で「ダンシングヒーロー」を熱唱した地紙未来さん(16)＝南方町大門＝は「楽しんで歌えました。楽しめるイベントなので、若い人たちが多く集まれば、もっと盛り上がると思います」と話していました。



のど自慢大会では、市内の高校生たちが大活躍。歌だけではなく振り付けも披露し、会場を盛り上げました。

パパまた料理してね

子育て世代男性料理講座

子どもと一緒に男性料理講座「必見！家族にモテるパパになる！～うちのパパは料理上手～」は2月17日、迫公民館で開かれ、小学生とその父親5組が参加し、料理と家事検定に挑戦しました。

講座は、子育て世代の父親に夫婦間で家事分担の必要性を感じてもらうことが目的。親子組は栄養士の指導で、米粉ピザとクリームシチューを調理。慣れない手付きながらも、親子で料理を楽しみました。小野寺政彦さん(41)＝中田町本町畑中＝は「妻の勧めで参加しました。料理の大変さを知りました。今後は子どもたちと厨房に立ちたい」と意欲を見せていました。



慣れない手付きで、ピザに具を乗せる参加者。出来上がった料理は格別の味で、試食では「おいしい」と満足の声が聞こえました。

感謝を胸に飛び立つ

市内の小中学校で卒業式

市内の小中学校で卒業式が行われ、卒業生はそれぞれの学校生活の思い出を胸に、共に過ごした学びやを後にしました。

このうち佐沼中学校(小野寺文晃校長、生徒472人)卒業式は3月9日に行われ、保護者、在校生、教職員や来賓が見守る中、176人(男子91人、女子85人)が卒業しました。式では国歌斉唱に続いて卒業証書を授与。小野寺校長から卒業生一人一人に卒業証書が手渡されました。卒業生代表で答辞を述べた米倉知希さんは「中学校生活の3年間は貴重な時間でした。支えてくれた皆さんに感謝します」と感謝の気持ちを表しました。



卒業証書を受け取る卒業生ら。小野寺校長は「君たちに最後の宿題を出します。みんな幸せになれ」とエールを送りました。

平成30年度予算の概要

**平成30年度市の全体予算
933億9741万円**

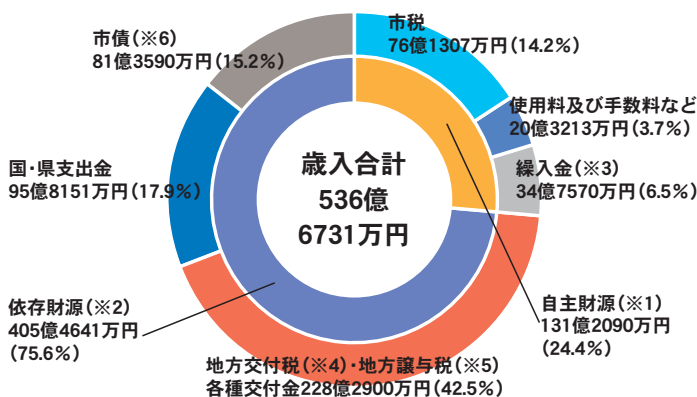
本市は、市政の基本的な施策経費である一般会計(※1)のほか、国民健康保険事業など6つの特別会計(※2)と病院事業など3つの企業会計(※3)があります。会計ごとの予算額は、左表の通りです。

本市の平成30年度の一般会計予算

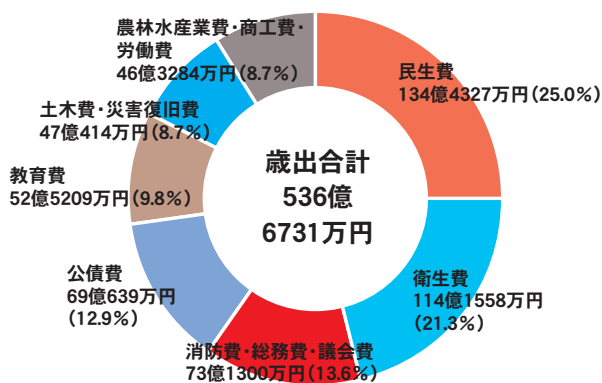
■会計別予算額

会計名	平成30年度予算額	全体割合
一般会計	536億6731万円	57.5%
特別会計	253億7177万円	27.2%
国民健康保険特別会計	91億5801万円	9.8%
後期高齢者医療特別会計	8億3352万円	0.9%
介護保険特別会計	101億9292万円	10.9%
土地取得特別会計	1億3708万円	0.2%
下水道事業特別会計	48億8225万円	5.2%
宅地造成事業特別会計	1億6799万円	0.2%
企業会計	143億5833万円	15.3%
水道事業会計	38億3995万円	4.1%
病院事業会計	100億2794万円	10.7%
老人保健施設事業会計	4億9044万円	0.5%
合計	933億9741万円	100%

■一般会計歳入予算



■一般会計歳出予算



額は、536億6731万円で、前年度に対して70億597万円の増となりました。

歳入は、地方交付税などの交付金が約228億円、国・県支出金が約96億円、これらを合わせると約324億円と歳入合計の約60%を占めており、依然として国や県などへの依存度が高い状態にあります。歳出は、子どもやお年寄り、障がい

者に対する福祉の充実などに使われる民生費が約134億円と最も多く、次いで健康づくりや環境対策などの衛生費が約114億円、市民を守る消防・救急などの消防費、市民を管理業務である総務費、議会運営関連経費である議会費を合わせると約73億円、大規模な事業の借入金の返済経費である公債費が、約69億円と続いています。

【会計区分の解説】

- ▼一般会計(※1) 市税、地方交付税、国・県支出金を主な財源とし、福祉、教育、建設などの市政の基本的な施策に係る経費の会計
- ▼特別会計(※2) 国民健康保険事業や介護保険事業など特定の事業で、保険料など特定の財源で賄われ、一般会計と区別して経理する必要がある会計
- ▼企業会計(※3) 病院事業や水道事業など企業的な事業で、サービスを受ける人の料金で運営することを原則とした会計

【歳入科目の解説】

- ▼自主財源(※1) 市独自の収入。家計に例えると給料や不動産の売却収入など
- ▼依存財源(※2) 国や県の意思により定められた額を交付される。国・県支出金は家族からの援助、市債は金融機関からの借入れに当たる
- ▼繰入金(※3) 市の基金(貯金)を取り崩したものである
- ▼地方交付税(※4) 市町村が、一定水準のサービスを提供できるように、国から交付される
- ▼地方譲与税(※5) 国が市に変わって集めた税金が配分されるもの
- ▼市債(※6) 事業をする際に借り入れるもの

【歳出科目の解説】

- ▼民生費 子どもからお年寄り、障がい者に対する福祉の充実、子育て支援など
- ▼衛生費 健康づくりや環境対策など
- ▼消防費 総務費、議会費 市民を守る消防・救急や市の管理業務、議会運営など
- ▼公債費 大規模な事業に充てた借入金の返済
- ▼教育費 学校教育や生涯学習などの教育全般
- ▼土木費、災害復旧費 道路や公園などの整備のほか、災害で傷んだ建物などの改修
- ▼農林水産業費、商工費、労働費 豊かな農林業の発展や多彩な商工業の進展、雇用対策など

平成 30 年度の主要な施策(第二次登米市総合計画・政策の大綱別)

1 生きる力と創造力を養い 自ら学び人が「そだつ」まちづくり

【新規】(仮称)豊里こども園施設整備事業／上杉文庫基金事業

【継続】結婚活動支援事業(広域連携結婚支援事業を含む)／保育料等多子軽減拡大事業／幼稚園授業料等多子軽減拡大事業／保育対策総合支援事業／誕生祝金支給事業／小学校入学祝金支給事業／(仮称)東佐沼こども園施設整備事業／幼保連携型認定こども園等施設整備支援補助金／迫児童館整備事業／学校運営協議会(コミュニティ・スクール)推進事業／学力向上対策事業／教育施設備品整備事業／(仮称)新登米懐古館整備事業／総合型地域スポーツクラブ育成事業／長沼ポート場クラブハウス整備事業／パークゴルフ場整備事業

2 安全安心な暮らしが支える笑顔で 健康に「いきる」まちづくり

【新規】福祉作業所改修・修繕事業(あやめ園、工房なかも)／指定避難所看板設置事業／基幹型地域包括支援センター設置事業(介護保険特別会計)／認知症総合支援事業(介護保険特別会計)

【拡充】子ども医療費助成事業／病院事業(繰出金)

【継続】生活困窮者自立相談支援事業／自立支援給付費支給事業／児童発達支援センターこじか園改修・修繕事業／ウォーキング推進事業／適塩推進対策事業／健康診査事業／予防接種事業／高規格救急自動車整備事業／応急手当普及啓発事業／防火水槽整備事業／消防団車両等整備事業／ミニデイサービス・シニアサロン事業(介護保険特別会計)／生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)

3 地域資源を活かし魅力ある 元気な産業を「つくる」まちづくり

【新規】多様な担い手育成支援事業／汚染牧草等処理事業／汚染ほだ木処理事業／2020年東京オリンピック・

パラリンピック認証材提供事業

【拡充】畜産総合振興対策事業／園芸産地拡大事業／ふるさと創生ベンチャー起業支援事業／観光誘客対策事業

【継続】シティプロモーション推進事業／環境保全型農業推進事業／農業担い手育成支援・農業次世代人材投資事業／農地中間管理事業／日本型直接支払事業(多面的機能支払事業、中山間地域等直接支払事業、環境保全型農業直接支払事業)／森林認証取得支援事業／商店街交流創出事業／ビジネスチャンス支援事業／観光公園等施設改修・修繕事業／(仮称)登米インター工業団地整備事業(宅地造成事業特別会計)

4 自然と生活環境が調和し 人が快適に「くらす」まちづくり

【継続】移住・定住促進事業／住まいサポート事業／空き家改修事業／一般廃棄物第二処理施設(新クリーンセンター)整備事業／水道管路緊急改善事業(水道事業会計)／市道舗装補修事業／道路維持補修事業(段差解消事業等)／道路定期点検事業／道路新設改良事業／橋りょう維持補修事業(橋梁長寿命化事業)／都市計画マスタープランほか改定業務／定住促進宅地造成事業(中津山地区)／下水道整備事業(繰出金)／市営住宅建替事業(迫西大網住宅)

5 市民と行政が「ともに」創る 協働によるまちづくり

【新規】女性会議

【継続】ふるさと応援寄附金事業／庁舎劣化診断調査事業／未来のまちづくり支援事業

詳細な資料をご覧になりたい場合は、市公式ホームページ(<https://www.city.tome.miyagi.jp>)の「市政情報」→「行政・施策・計画」→「予算・財政」でお知らせしています。なお、ホームページを見ることができない人には、各総合支所窓口で資料を用意していますので、お近くの総合支所にお越しください。

【問い合わせ】企画部財政課(財政一係) ☎0220(22)2159

同コンクールは、平成29年中に発行された自治体広報紙を対象に実施されるもので、広報紙(市部)の部へ「広報とめ12月号」が推薦されます。12月号は「協働改革」をテーマに取り上げ特集。「企画・デザインが良い」「市民協働を、複層的な視点で検証し記事化されている」などの高い評価を受けました。

「To Me」の主役は、市民皆さんです。これからも多くの皆さんに寄り添う情報紙を目指します。

「To Me」6年連続全国へ



春の交通安全市民総ぐるみ運動



とチャイルドシートの正しい着用の徹底
④ 飲酒運転の根絶
⑤ 交差点と交差点付近の交通事故防止

交通事故の撲滅は、市民誰もが望む「願い」です。この願いをかなえるため、「守ろう交通ルール 高めよう交通マナー」を市民一人一人が心掛け実践することが重要です。

新入学児童に配慮した思いやり運転を

4月は、新入学児童が交通事故に遭うケースが見受けられます。

自動車・自転車を運転する皆さんは、子どもに配慮した運転を心掛けましょう。家庭や地域では、登米市の将来を担う子どもたちの見本となるよう交通ルールを守りましょう。

県飲酒運転根絶重点区域に指定

飲酒運転は「犯罪」です。本

市は県内他市町村と比べ、飲酒運転検挙数・事故件数の割合が高い地域です。

自動車・自転車を運転する時は、飲酒運転が引き起こす事故の重大性を十分に認識し、「飲んだら乗らない」「乗るなら飲まない」を実践しましょう。

【県飲酒運転根絶重点指定区域】迫町佐沼字中江一丁目～五丁目

【指定期間】平成30年4月1日～平成32年3月31日

【飲酒運転で失う六つの宝】

- ① 命(死亡事故に直結)
- ② 家族(家族離散など)
- ③ 仕事(会社は解雇など)
- ④ 社会的信用(マスコミで報道など)
- ⑤ 免許(免許取り消しなど)
- ⑥ お金(罰金や遺族補償など)

飲酒運転 しない
させない 許さない

【問い合わせ】市民生活部市民生活課(市民総務係)

☎0220(58)2118

五輪銅メダリスト 山口香氏スポーツ講演



【講師】山口香氏(カホリ)ソウル五輪女子柔道銅メダリスト/筑波大学体育系教授

【演題】スポーツの力(夢・挑戦・未来)

【対象】小学生以上、300人

【入場料】無料(要整理券)※整理券は、教育委員会教育生涯学習課、各教育事務所(総合支所内)、迫体育館、登米総合体育館、中田総合体育館、市内各総合型地域スポーツクラブで配布しています

【問い合わせ】登米市体育協会(中田総合体育館内)

☎0220(34)7302

生涯スポーツに取り組み

きっかけづくりと、健康で明るいまちづくりに向けて、スポーツ講演会を開催します。

【日時】3月30日(金)午後6時30分開演(午後5時30分開場)

【場所】中田農村環境改善センター

登米地区が住宅無火災千日を達成



登米市婦人防火クラブ(佐藤千賀子会長)は2月28日、登米市婦人防火クラブ登米支部(後藤久美子支部長)に住宅無火災千日を達成したことから、表彰状を贈りました。

表彰状は、無火災継続期間が基準日を迎えて、火災予防の普及啓

発が模範と認められた支部に贈呈。登米町地区は、平成27年から住宅火災がなく、千日を達成しました。

後藤支部長は「今後は無火災1500日を目指し、より一層注意喚起をし、住民の命と財産を守りたい」と決意を新たにしました。

Information
04

平成30年度登米市農作業標準料金・賃金表を設定

農作業を受委託する場合の参考にしてください

作業種目など		種別	作業単位	区画	標準料金(税込)	備考
耕起	水田耕起	トラクター	10 ㍓	30 ㍓未満	4,940 円	ロータリーを基準 耕深 12 ㍓以上
				30 ㍓～50 ㍓未満	4,320 円	
				50 ㍓以上	3,910 円	
				3,090 円	二番耕	
	畑耕起	トラクター	10 ㍓	30 ㍓未満	5,660 円	普通畑
代かき	トラクター	10 ㍓	10 ㍓	30 ㍓未満	6,380 円	仕上げまで
				30 ㍓～50 ㍓未満	5,860 円	
				50 ㍓以上	5,450 円	
田植え	催芽料金	1 袋	4 キログラ	260 円		
	苗	1 箱		700 円	苗を委託者自己搬入以外は 1 箱 30 円増し、箱処理剤は含まない	
	田植機	10 ㍓	10 ㍓	30 ㍓未満 30 ㍓～50 ㍓未満 50 ㍓以上	5,350 円 4,830 円 4,420 円	側条施肥(肥料は含まない) 1,000 円増し
直播	湛水	10 ㍓	10 ㍓		5,350 円	代かき済みほ場とし、種もみ、コーティング処理含まず
	乾田				5,140 円	整地済みほ場とし、種もみ含まず
稲刈り	コンバイン	10 ㍓	10 ㍓	30 ㍓未満	16,970 円	隅刈～運搬
				30 ㍓～50 ㍓未満	15,840 円	ワラ切断
				50 ㍓以上	14,610 円	ワラ結束は 2,000 円増し
	バインダー	10 ㍓	10 ㍓		8,020 円	刈り放し、結束糸持ち
脱穀	ハーベスター	10 ㍓	10 ㍓		6,690 円	結束なし
					8,850 円	結束
もみ乾燥調製	乾燥	生もみ乾燥	60 キログラ		1,030 円	
		半乾燥	60 キログラ		650 円	水分18%以下のもの
	もみすり	60 キログラ		590 円	袋代は別	
	色彩選別	60 キログラ		860 円	単独作業、もみすりと同時に作業は別料金	
散布	肥料散布	ブロードキャスター	10 ㍓		750 円	肥料代は別
	農薬散布	背負動力散布機	10 ㍓		860 円	農薬代は別
	堆肥散布	マニアスプレッター	10 ㍓		2,570 円	堆肥代金は含まない。積み込み運搬含む
堆肥			1 トン		3,240 円	有機センター成分と同等品、運搬なし
溝切り			30 ㍓		4,830 円	溝切りは100㍓当たり 500 円くらいとし、まくらは排水溝までつなぐ
畦畔土盛り			1 ㍓		40 円	片側(土盛、鎮圧)
ワラ収集梱包	反転収集	ジャイロレーキ	10 ㍓		1,340 円	2 回を標準とする
		ロールベラー	10 ㍓		2,570 円	
	梱包	ヘイベラー	10 ㍓		3,090 円	積み上げ・運搬は含まない。梱包、ラップ
		ラッピング	1 個	直径 1 ㍓	1,000 円	フィルムは、重量や巻数により調整
転作田草刈り(牧草)	ディスクモア	10 ㍓		3,090 円	転作草地の草刈り(刈り放し)	
畦畔草刈り	草刈機	1 時間		1,540 円	機械持ち(燃料含む)	
	自走畦畔草刈機	1 時間		3,090 円	機械持ち(燃料含む)	
賃金	オペレーター	1 日		10,000 円	トラクター・コンバインなどの運転だけを依頼する場合の賃金(8 時間)	
	一般作業員	1 日		8,000 円	一般農作業、男女とも同額(8 時間)	

①賃金は、実働 8 時間を基準とします

②上記以外の未整備田(開田等)、地形、地質、作業内容など、通常と異なる場合は双方協議の上、決めてください

③区画の考え方は、ほ場ではなく作業面積による区画です(例: 1 ㍓区画内で 20 ㍓作業する場合は「30 ㍓未満」の区画料金を適用)

※料金表は各総合支所に準備しています。また、市公式ホームページ(<https://www.city.tome.miyagi.jp/noui/shisejoho/noringyo/nogyoinakai/tinsyaku.html>)にも掲載しています。

【問い合わせ】農業委員会事務局(農政総務係) ☎ 0220(34)2317

ご利用ください「子育て支援センター」

		迫子育て支援センター	登米子育て支援センター	東和子育て支援センター	中田子育て支援センター	豊里子育て支援センター
申し込み問い合わせ		☎0220(22)2524	☎0220(52)2246	☎0220(42)2230	☎0220(35)2525	☎0225(76)4731
活動内容	事業名	広場 ひよこ(火)0歳~就学前 /うさぎっこ(木)おお むね3歳児 10:30~11:30	ミッキーの会 月3回程度 火曜日 9:30~11:30	わいわい広場 毎週木曜日 10:00~11:30	カムすく広場 毎週木曜日 9:30~11:30	たんぼぼ広場 毎週火曜日 10:00~11:30
	共通内容	紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、子育て相談・子育て講座・子育て支援情報など				
	独自内容	誕生会、ミニ運動会、親子遠足、季節の行事、おもちゃ作りなど	誕生会、季節の行事、おやつ作りなど	誕生会、季節の行事、ミニクッキング、運動遊びなど	ふれあい遊び、わらべうた遊び、季節の行事、ミニクッキング、手作りおもちゃなど	リトミック、いきいき豊里っ子の日、季節の行事など
申し込み方法		各施設に備え付けの用紙に必要事項を記入の上、登録する子育て支援センターや児童館に提出してください。 ※対象は、0歳~就学前のお子さんとその保護者(家族)				
自由来館		自由来館は、各支援センターの広場以外の日でも自由に利用できますので、気軽に遊びに来てください。				
		毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週月~金曜日 9:00~14:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週水・木曜日 9:00~14:00
		米山子育て支援センター	石越子育て支援センター	津山子育て支援センター	南方子育てサポートセンター	
申し込み問い合わせ		☎0220(55)2313	☎0228(34)3110	☎0225(68)3363	☎0220(58)5558	
活動内容	事業名	くまのこ広場 毎週木曜日 9:30~11:30	ふれあい広場 毎週水曜日 10:00~11:30	ぼんぼこ広場 月3回程度 水曜日 9:30~11:30	遊びの広場 毎月5~6回 10:30~11:00	
	共通内容	紙芝居、絵本の読み聞かせ、手遊び、子育て相談・子育て講座・子育て支援情報など				
	独自内容	クッキング、誕生会、季節の行事など	ミニクッキング、誕生会、季節の行事など	誕生会、季節の行事、おやつ作りなど	ピアノとうたおう、おはなしワクワク、リトミック広場、地域交流、ぼっぼまつり、ぼっぼでクリスマスなど	
申し込み方法		各施設に備え付けの用紙に必要事項を記入の上、登録する子育て支援センターや児童館に提出してください。※対象は、0歳~就学前のお子さんとその保護者(家族)				
自由来館		自由来館は、各支援センターの広場以外の日でも自由に利用できますので、気軽に遊びに来てください。				
		毎週月~土曜日 8:30~17:00	毎週月~金曜日 9:00~16:00	毎週木曜日 9:30~14:00	毎週月~土曜日 8:30~17:00	

※詳細は、直接各支援センター・児童館にお問い合わせください。

平成30~32年度の所得段階別介護保険料

段階	対象者	基準額 6,800円 / 月額	
		月額保険料	年額保険料
第1段階	生活保護受給者	3,060円	36,720円
	世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金受給者		
	世帯全員が住民税非課税で、本人の年金収入額と合計所得金額の合計金額から、年金所得額を控除した額が80万円以下の人		
第2段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の年金収入額と合計所得金額の合計金額から、年金所得額を控除した額が80万円を超え120万円以下の人	5,100円	61,200円
第3段階	世帯全員が住民税非課税で、本人の年金収入額と合計所得金額の合計金額から、年金所得額を控除した額が120万円を超える人	5,100円	61,200円
第4段階	本人が住民税非課税(世帯に課税者がいる)で、本人の年金収入額と合計所得金額の合計金額から、年金所得額を控除した額が80万円以下の人	6,120円	73,440円
第5段階	本人が住民税非課税(世帯に課税者がいる)で、本人の年金収入額と合計所得金額の合計金額から、年金所得額を控除した額が80万円を超える人	6,800円	81,600円
第6段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が120万円未満の人	8,160円	97,920円
第7段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が120万円以上200万円未満の人	8,840円	106,080円
第8段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が200万円以上300万円未満の人	10,200円	122,400円
第9段階	本人が住民税課税で、合計所得金額が300万円以上の人	11,560円	138,720円

30年度から介護保険料改定

平成30から32年度までの65歳以上の介護保険料を改正します。

基づき1人当たりの額を算出します。

介護保険制度は、介護が必要な高齢者を社会全体で支えることを目的に創設された制度です。65歳以上の介護保険料は3年ごとに見直し、介護サービス費用の総額見込みに

今回の改正は、介護給付実績や高齢化の進展に伴う要介護認定者の増加などを踏まえたことによるものです。
【問い合わせ】福祉事務所長寿介護課(介護給付係)
☎0220(58)5551

健康

4月の献血日程



- ① 7日(土)
 - ▶イオンタウン佐沼
 - 10:00~11:45
 - 13:00~16:30
- ② 15日(日)
 - ▶イオンタウン佐沼
 - 10:00~11:45
 - 13:00~16:30
- ③ 30日(月・祝)
 - ▶イオンタウン佐沼
 - 10:00~11:45
 - 13:00~16:30

※日程は変更になる場合があります。最新の日程については、市ホームページをご覧ください。下記にお問い合わせください。

【問い合わせ】
市民生活部健康推進課
(健康推進係)
☎ 0220(58)2116

自殺予防 仙台いのちの電話

ひとりじゃないよ
話を聴かせて

☎ 022(718)4343

いろいろなことに、悩み、苦しんでいる人の「こころの声」を聴きます。
※登米いのちホットテレホンは、本年3月末で終了します

こども夜間安心コール

- 電話番号
#8000
(プッシュ回線の固定電話、携帯電話から)
☎ 022(212)9390
(プッシュ回線以外の固定電話、PHSから)
- 相談時間
毎日午後7時~翌朝午前8時

休日・夜間診療案内

休日・夜間診療案内は下記の番号です(24時間対応)
☎ 0229(24)2267

「歯の健康は家庭での健全な生活習慣から」80歳になっても自分の歯を20本以上保とう。健康寿命の延伸は口の健康を合言葉に、県と県歯科医師会では「歯つらつファミリーコンクール」8020よい歯のコンクール」を実施します。



健康な歯は、日頃のケアが大切です

あなたの健康な歯と口
コンクールに挑戦

- 歯つらつファミリーコンクール
- 【応募対象】
 - ① 親と子の部
 - 平成29年4月1日から平成30年3月31日までに3歳児健康診査を受け、むし歯がなかったお子さんと両親のどちらか。
 - ② ファミリーの部
 - 平成29年4月1日から平成30年3月31日までに3歳児健康診査を受け、むし歯がなかったお子さんと両親、お兄さん、お姉さん。
- ※応募は①か②のどちらかを選んでください。5月初旬に、県歯科医師会から口腔診査の連絡があります。
- 【応募期限】4月11日(水)
- 【申し込み・問い合わせ】
 - 市民生活部健康推進課
 - ☎ 0220(58)2116
 - FAX 0222(225)4843
- 各総合支所市民課(健康づくり係)
- 8020よい歯のコンクール
- 【応募対象】平成30年6月4日現在、満80歳以上で、自分の歯(治療完了)が20本以上ある健康な人。
- 【応募方法】官製はがき(ファクシミリ可)に住所、氏名(フリガナ)、生年月日、年齢、電話番号、かかりつけ歯科医院、または最寄りの歯科医院を記入し、ご応募ください。
- 【応募期限】4月13日(金)
- 【申し込み・問い合わせ】
 - 〒980-0803
 - 仙台市青葉区国分町一丁目5番1号
 - 県歯科医師会「コンクール事務局」
 - ☎ 0222(222)5960
 - FAX 0222(225)4843

4月のこころの相談

日	場所・時間・予約先・担当
16日(月)	津山ふれあいセンター 13:30~15:30 ☎0225(68)3114(津山総合支所) 医師
17日(火)	南方保健センター 13:30~15:30 ☎0220(58)2113(南方総合支所) 医師
精神科医師などが相談に応じます。安心してご相談いただくため、完全予約制です。相談日前日(土日を除く)までに、各予約先までお申し込みください。	

登米市民病院小児科の 日曜日救急診療

●診療時間 9:00~17:00
(16:30まで受け付け)
【問い合わせ】登米市民病院
☎0220(22)5511

4月の休日当番医

日	休日急患当番医	歯科休日当番医
1日(日)	よねやま診療所(米山町) ☎0220(55)2011	さくら歯科医院(迫町) ☎0220(22)2210
8日(日)	おおたおおたにクリニック(中田町) ☎0220(35)1161	はら歯科医院(米山町) ☎0220(55)3313
15日(日)	佐藤内科医院(迫町) ☎0220(22)2160	中江歯科クリニック(迫町) ☎0220(22)7767
22日(日)	二瓶内科胃腸科医院(迫町) ☎0220(22)6508	まつお歯科医院(迫町) ☎0220(28)2311
29日(祝)	八嶋中央診療所(石越町) ☎0228(34)2013	東和歯科医院(東和町) ☎0220(53)3811
30日(祝)	佐幸医院(迫町) ☎0220(22)7003	浅野歯科医院(南方町) ☎0220(29)6036

●診療時間 9:00~17:00

【休日急患当番医】

●休日・夜間診療案内 ☎0229(24)2267 [24時間]

●第2次診療 登米市民病院 ☎0220(22)5511

【問い合わせ】登米市医師会 ☎0220(22)2084

※月~金曜日(休日を除く)

【歯科休日当番医】

【問い合わせ】市民生活部健康推進課 ☎0220(58)2116

※当番医は、変更する場合があります。各医療機関に確認の上、受診ください。

9 TOWNS TOPICS

9つのまちのホットな話題をお届けします

迫



地域一体でモデル地区に学ぶ

「子ども会育成フォーラム」(青少年のための登米市民会議迫支部、迫町子ども会育成連絡協議会共催)は2月10日、迫公民館で開かれ、約60人が参加しました。

フォーラムは、大網西愛児会やジュニアリーダーなど4団体の代表がパネリストになり、活動を報告。助言者5人が加わり、「地域コミュニティと子ども会活動」をテーマに、子どもたちの健全育成に必要なことについて、意見を交わしました。

みやぎの明治村全体が画廊に

「絵のまち巡り」(みやぎ北上商工会青年部登米支部主催)は2月1日から28日まで開かれ、町内53カ所の商店や事業所の店内に絵画や切り絵が展示されました。

絵のまち巡りは、地域住民から親しまれる店づくりを目指して実施。地元の保育園児や小中高生などが制作した、絵画や切り絵など約370点が展示されました。みやぎの明治村全体が画廊となり、地域住民や観光客も作品を見ながら、まち巡りを楽しみました。

登米



東和



伝統の奇祭水掛け火伏せ願う

国指定重要無形民俗文化財「米川の水かぶり」は2月7日、東和町米川地内で開かれ、すすを顔に塗り付け、わら装束を身につけた男衆23人が、大慈寺境内の秋葉大権現で祈願後、家々の屋根に水を掛けて火伏せをしました。

米川の水かぶりは、800年以上続くと言われ、毎年2月の初午の日に催される行事。現在、秋田県の「男鹿のナマハゲ」など9件の来訪神行事と共に、ユネスコの無形文化遺産登録を目指し活動しています。

指で描くライオンは優しいね

「徳治昭童画展」(中田生涯学習センター主催)は1月31日から2月4日まで、中田生涯学習センターで開かれ、600人を超える来場者が会場に足を運びました。

童画展では、ワークショップ「指でらいおんサンを描こう」も開催。当日は、幼児から大人まで30人が参加し、指でライオンを描きました。柔らかいタッチで温かみのある作品が出来上がり、子どもたちは「指が痛くなって、手も汚れたけど、とても楽しかった」と目を輝かせていました。

中田



豊里



大阪の人気寄席豊里に届ける

上方落語を聴く会「出前田辺寄席」(豊里コミュニティ推進協議会主催)は2月18日、豊里公民館で開かれ、落語家たちの見事な話芸に、会場内は終始笑いに包まれました。

上方落語会は、昨年に続き2度目の開催。桂文太師匠率いる大阪の地域寄席「田辺寄席」5人の落語家等が高座に上がり、小噺や三味線、太鼓など鳴り物演奏などを披露しました。来場者は軽妙な上方落語に、笑いをこらえきれませんでした。

世代つなぐレクリエーション

「第21回吉田地区世代間交流レクリエーション大会」(吉田コミュニティ運営協議会主催)は2月18日、善王寺コミュニティセンターで開かれ、子どもから高齢者まで約300人が参加し、スポーツを楽しみました。

大会は、軽スポーツを通して、地域の幅広い年齢層が一緒に競技することで、親睦を深めることが目的。参加者は、レインボー玉入れやデカパン競争などで、冬季の運動不足を解消しながら楽しい時間を過ごしました。

米山



石越



健全育成の共通理解を深める

青少年のための登米市民会議石越支部と石越町子ども会育成協議会の「合同会員研修会」は1月27日、石越公民館で開かれ、団体関係者、学校関係者や地区住民約60人が青少年の健全育成に理解を深めました。

研修会は、石巻専修大学人間学部教授の木村民男氏を講師に迎え、青少年が健全に育つ住みよいまちづくりについて講演。参加者らは、グループワーク等を通じて子どもたちのいじめや不登校の予防策を学びました。

皆と音楽で楽しくつながろう

「もっこりまちの音楽会」(南方公民館主催)は2月4日、南方農村環境改善センターで開かれ、地元の音楽愛好家が集まり、日ごろの練習の成果を披露しました。

音楽会は、公民館の「特色ある町の事業」の一環で開催。南方小学校(大嶽太鼓)、南方中学校吹奏楽部、あやめ園、もっこり合唱隊、オカリーナの会、ニューシャーマン楽団、スィング、大正琴あやめの会と、地元でおなじみの8団体の歌と演奏で盛大に盛り上がりました。

南方



津山



家族への感謝の思いを届ける

「明るい家庭づくり作文コンクール表彰式」(青少年のための登米市民会議津山支部主催)は2月22日、津山総合支所で行われました。

表彰式は、最優秀賞を受賞した小中学生が、家族への思いを素直に表現した作文を朗読。表彰式後の研修会では、情報セキュリティに精通している盛証貴氏が、ネット犯罪の被害の実態について講演しました。出席者らは、犯罪に巻き込まれないための対策を学びました。

一般向け

PICKUP_04 教育費&子育て費
「賢い家族のお金の新ルール」



前野 彩/著
子どもの人数や習い事など、家族に合った賢いお金の貯め方や使い方があります。成長ごとに必要なお金を知り、楽しく子育てするポイントを分かりやすく解説。

PICKUP_05 企画展だけじゃもったいない
「日本の美術館めぐり」



浦島 茂世/著
美術館は、企画展がない時でも十分に楽しめます。行列や混雑が苦手、行くのをためらっている人に、何度も行きたくなる日本の美術館102館を紹介します。

PICKUP_06 「口笛の上手な白雪姫」



小川 洋子/著
劇場、病院、公衆浴場で。「声」によってよみがえる、大切な死者とかけがえのない記憶。その口笛が聴こえるのは、赤ん坊だけだった。切なく心揺さぶる短編集。

続々新刊が入荷。詳しくは市ホームページで

子ども向け

PICKUP_01 安心して食事ができる！
「食物アレルギーキャラクター図鑑」



赤澤 晃/監修
卵、乳、小麦、そば、エビなど、食物アレルギーの原因になる食べ物が、個性豊かなキャラクターになって登場。正しい知識を身に付けて、安心できる食生活を。

PICKUP_02 みんなで！ひとりで！
「たのしいトランプあそび」



草場 純・ささき せつお・純銀 桜子/監修
ババ抜きや神経衰弱など、おなじみのゲームや一人遊び、マジック、占いなど、イラストでルールや手順を分かりやすく解説。トランプの奥深さを味わえます。

PICKUP_03 「ブルドッグたんていと
きえたほし」



谷口 智則/作・絵
夜空から星が行方不明になった数日後、「星を探してください」と依頼が舞い込む。鋭い耳と鼻で調査するブルドッグ探偵は、星を見つけることができるか。

●Library Topics

みんなの図書館

利用者の声や図書館のイベントなどをお知らせします

利用者カードは全館共通です

市図書館で本を借りるには、利用者登録が必要です。

市内に在住、在勤、在学していれば、どなたでも登録できます。登録する場合は、申請書の記入が必要ですので、本人確認ができるものをご持参ください。

一度登録すると、市内全ての図書館(室)で本を借りられます。

【貸し出し冊数と期間】

冊数：1人各館5冊まで

期間：貸し出し日の翌日から14日間

※個人以外に、団体へも貸し出していますので、詳しくはお問い合わせください。



利用者登録の場合は、申請書の記入が必要です。本人確認できるものをご持参ください。登録後に、全館共通で使える利用者カードをお渡しします。

- 開館時間 午前9時～午後5時
- 休館日 毎週月曜、祝日、年末年始など
(中田図書室は祝日も開室)
※その他、館内整理など不定期での休館もありますのでお問い合わせください
- 問い合わせ 追 図書館 ☎ 22-9820
登 米図書館 ☎ 52-5330
中 田図書館 ☎ 34-8081

This Month
Pick Up
Hot
Communication

Books

Health

Young

Dream

Child

Half
Century

One's
Home

2月21日までの3歳6カ月健診でむし歯のなかった子どもたち



石井 彩那ちゃん
(追町平柳)



伊藤 聡真くん
(追町舟橋)



猪又 永遠くん
(追町中江)



及川 燿之介くん
(追町小友)



小野寺 結音ちゃん
(追町大網南)



加藤 蒼人くん
(追町大形)



門脇 陽向くん
(追町駒林)



門脇 陽葵ちゃん
(追町駒林)



鎌田 汐音ちゃん
(追町立戸)



櫻井 愛琉斗くん
(追町錦東)



佐々木 理歌ちゃん
(追町鉄砲丁)



佐藤 倅彩ちゃん
(追町錦東)



竹内 彩子ちゃん
(追町内町)



千葉 哲仁くん
(追町萩洗)



千葉 大誠くん
(追町赤沼)



中村 心結ちゃん
(追町舟丁)



二階堂 蒼太くん
(追町横丁)



松永 真琴ちゃん
(追町中江)



三浦 波留くん
(追町萩洗)



竹内 悠斗くん
(登米町経沢)



村上 彩ちゃん
(登米町宿小川)



千葉 蓮くん
(東和町米川1区)



佐藤 紗耶ちゃん
(中田町上沼長根)



千葉 瑛太くん
(中田町新町)



渡辺 利輝斗くん
(中田町大泉)



瀧美 凪ちゃん
(登里町上町)



飯田 真緒くん
(登里町上町)



佐々木 悠智くん
(米山町中新田)



佐々木 優宇くん
(米山町中新田)



千葉 真人くん
(米山町後小路)



佐々木 穂乃真ちゃん
(石越町第2)



佐藤 銀侍朗くん
(石越町第14)



大久保 美祐ちゃん
(南方町香上)



門脇 莉愛ちゃん
(南方町大岳)



亀卦 川 眞汰くん
(南方町峯)



櫻井 裕真くん
(南方町畑岡)



木村 朱里ちゃん
(津山町8区)



堀田 あんなちゃん
(津山町6区)

むし歯がなかった子は、市内9地区で
52人中38人でした

追町北方出身のやすゑさん。20歳で夫明さんと結婚しました。結婚当時は、農業で生計を立て、稲作、野菜や養蚕と多くのことを手がけました。家族は当時のことを「いつ寝て、いつ起きていたのか分からないく

らいよく働いていました」と振り返ります。好き嫌いはなく何でもよく食べ、隣近所の人たちのお茶飲みが一番の楽しみ。家族は「これからは、ずっと一緒に暮らしたい」とやすゑさんの長寿を願っていました。



高橋 やすゑさん
(南方町・南大畑)
大正7年2月15日生まれ

おめでとうございます
祝100歳

東和町米谷出身で、中田町要害に嫁いだきよしさん。農業をしながら、5人のお子さんを育て上げました。毎日の楽しみは、茶の間のテレビでスポーツ観戦。特に野球が好きで、巨人の大ファンです。自身もゲートボールの選

手として活躍しました。現在は、特別養護老人ホームみろく苑に入所。孫の順子さんは「よく子守りをしてもらい、とてもかわいがってもらいました。まだまだ長生きしてほしいです」ときよしさんを見つめました。



榎原 きよしさん
(中田町・寺山)
大正7年3月1日生まれ

佐藤 明日香さん(19)

さとう・あすか
米山町・瀬ヶ崎

★**身長と血液型** 147センチでO型です。

★**現在は** 仙北信用組合本店で働いています。高校の時に、生徒会で活動していました。先生からの紹介で「金融機関は責任感がある明日香に向いている仕事」と言われ、選びました。現在は、窓口で預金を担当しています。しっかりと接客できた時に「どうもね」と言われるのがうれしいです。

★**自分の性格** マイペースだと思います。いい意味でも悪い意味でも焦らないことです。でも、友達や家族は困ると思いますけど(笑)。

★**趣味は** 体を動かすことですね。休日は、いところからママさんバレーに誘われ、参加することもあります。それと書道を小学2年生から習っています。書くことも好きですが、通ってきている小学生や先生と話しをするのが楽しいですね。平成29年に師範の資格を取得しました。

★**理想の男性像** 包容力がある人がいいですね。私の性格を知っていて、いい方向に導いてくれる人がタイプです。

★**休日は** 最近は散歩ですね。友達と平筒沼に行って、自然の中を散歩します。また、日帰り温泉にもよく行きます。大崎市田尻町の「さくらの湯」や岩手県一関市の「桃の湯」は、お風呂の種類が豊富でおすすめです。

★**登米市について一言** 平筒沼、長沼、三滝堂は、開放感があっていいですね。子どもと一緒に遊べるところが充実してほしいなと思います。



～「わが家のアイドル」を募集～

3歳までの子どもたちを募集しています。ご家族の記念にいかがでしょうか。投稿お待ちしております。
 <応募方法>①氏名(ふりがな)・性別②住所③行政区④生年月日⑤電話番号⑥掲載する保護者の氏名⑦コメント(50字程度)⑧写真データを添付し応募してください <応募先>総務部市長公室広報広聴係
 〒987-0511 追町佐沼字中江二丁目6番地1 Eメール:koho@city.tome.miyagi.jp 電子申請:
<https://www.shinsei.elg-front.jp/miyagi/uketsuke/dform.do?acs=212IdolMyHome>

電子申請 QR コード





Dream

ぼくとわたしの夢

Monthly Hot Communication

佐藤 彩羽さん

さとう・いろは 津山中2年
津山町・横山7区

幼稚園の先生に憧れて

私の将来の夢は、幼稚園の先生になることです。きっかけは、私が幼稚園で友達とけんかをした時のことでした。その時、先生は私と友達の間に入り、優しく話を聞いて二人の思いを真剣に受け取ってくれました。そんな先生の姿に、「私もいつか先生のような幼稚園の先生になりたい」と思い、この職業に就きたいと決意しました。

そのため、地域のジュニアリーダー活動に参加し、幅広い年代の人々と交流を深めながら、多くの活動をサポートしてきました。その中で、誰に対しても優しい行動が取れるよう、将来に向けて努力しています。

そして、これからも人に対し親切にする気持ちを大切にして、幼稚園の時に出会った先生のような幼稚園の先生になりたいです。

Child

わが家のアイドル

Monthly Hot Communication



最近、ハイハイを覚えて部屋の中を暴走しています。目が離せないくらい大きくなり、うれしいです。

山田 結瑞^{ゆず}ちゃん (11カ月)
2017年4月13日生まれ
豊里町・十五貫
菜さんの長女



毎日よく笑い、よく泣いて、よく飲んで、これからもすくすく元気に育ってね。

鈴木 楓士^{ふうと}くん (6カ月)
2017年9月17日生まれ
迫町・大網南
貴洋さんの長男

Half Century

寄り添い半世紀

Monthly Hot Communication



佐藤 孝太郎さん(78)

和子さん(74)

津山町・横山9区

1964(昭和39)年7月入籍

孫の部活の「追っかけ」が楽しみ

★二人のなれ初めは

【孝太郎】父を亡くし、農業するのにお大変だから、あだりから「結婚しろしろ」と言われ、仲人が世話してくださったね。

【和子】農協に就職したばかりだったけど、その頃は、親が結婚相手を決めてだもんね。

★お互いの性格は

【孝太郎】仲人からは「おとなしく優しい子だがらもらえ」って言われたの(笑)。

【和子】3人きょうだいの末っ子で上2人が女だから、おっとりしてるの。怒ったことないね。

★結婚当時の思い出は

【孝太郎】親戚付き合いが多く、しょっちゅう一人で出歩いた。

【和子】一町田の田の草を取るのが大変だったね。四つんばいになって、素手で取るから何日もかかって。義母は、お客さんが来ると「和子は何でもよくやる」と褒めてくれて。義母は褒め上手なのさね。

★現在の楽しみは

【和子】中学生の孫がバレーをしていて、その応援が楽しみ。二人で古川まで行くよ。私ばかり行くのも都合悪いもの(笑)。

★夫婦円満のコツは

【和子】何もしねくても円満だよ。

【孝太郎】はいはいと言ってればいんでない。たまに、返事ばかりで怒られるけどね(笑)

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

「太い絆をいつまでも」

春を迎えると当時の思いがよみがえる。半世紀以上前の1960(昭和35)年3月10日、佐沼高を卒業した私は廃線になった仙北軽便鉄道の佐沼駅で、多くの人たちに見送られて古里を離れた。「まだなあ、頑張れよ」と一緒に遊び、時には議論した同級生。出発際にデッキリまで駆け寄り「弁当買って食べでえがしえー」と、ポケットに2千円を押し込んだ叔母のこと。今思えばこの時に、心温かな古里の人たちへの感謝の気持ちさがさらに膨らみ、古里を離れることに希望と自信が湧いた。古里の人たちの温かいエールが、私の人生の支えとなってきたと思う。

高村光太郎の詩集「道程」

平井 紀光 さん(76)

関東地区宮城県南方町人会
副会長
南方町(北本郷)出身



に、次の一節がある。
僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る
ああ、自然よ
父よ

僕を一人立ちさせた
広大な父よ
僕から目を離さないで
守る事をせよ

常に父の気魄を僕に充たせよ
この遠い道程のため
この遠い道程のため

文中の「父」を「古里」に読み替えると、志を胸に地元を離れて新たな道を歩み続ける人の望郷の念、そして古里からのエールに、強い思いをイメージさせているように感じる。

このような思いが、関東地区南方町人会の発足につながっている。当時、集団就職等で古里を離れ、慣れぬ都会で人生を歩み始めた若者たちが古里の思いや応援の声を届け、互いに支え合い親睦の輪を広げてきた。社会が便利になっても、人のつながりは変わらない。昨年の総会では、90人ほどが集い、思い出話に花が咲いた。50周年を迎える本年度の総会。古里からたくさんの参加者を期待し、この絆がいつまでも続くことを願っている。

おらほの物産

とよま観光物産センター 「遠山之里」



登米コレは「登米市&とよまの美味しいをギュッと心を込めて詰めました」とスタッフの皆さん。

今月は、とよま観光物産センター「遠山之里」の山田忠則取締役管理部長にお話を伺いました。

Qこれから開催されるイベントを教えてください

2018(平成30)年は、明治元(1868)年から起算して、満150年の年に当たります。この記念の年に、みやぎの明治村では、関連イベントを企画しています。

4月21、22の両日、春の「はつと屋台村」を開催します。屋台村は、市内6店舗が出店し、定番の油麩、牛モツ、アズキ、海鮮、赤豚カレー、ずん

だ、すり身はつとなど、バリエーション豊かなはつとを取りそろえています。さらに焼き鳥、ホルモン、とり弁当なども販売。ご家族や友達などご来場いただき、さまざまなはつとをお楽しみください。



「はつと屋台村」春と秋に開催され、多くのお客さんにぎわいます。

4月1日から、教育資料館

など歴史資料館へ着物で来館した人を対象に、入場料を2割引きにします。期間は11月30日まで。明治、大正ロマンあふれる「明治村」を着物姿で散策し、タイムスリップしてみませんか。

Qお勧め商品などを教えてください

本市自慢のお菓子をコレクションした「登米コレ」。季節によってお菓子の組み合わせが違うので、コレクションをぜひ、一度ご賞味ください。

【問い合わせ】とよま観光物産センター「遠山之里」

☎0220(52)5566

まちの文芸

短歌

作品募集!

5月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、3月30日(金)までご応募ください。氏名・作品には全てふりがなを振ってください。
●応募者多数の場合選考して掲載します。

行事過ぎ静寂戻る参道に
正中の先灯明の灯り

渋谷 清香
(迫)

人柄を偲びし語る同級生
通夜の席にて偉大さ知りて

菅原たゑ子
(迫)

雪の道ヘッドライトに照らされて
光のシャワーさらさら

三浦 智恵
(迫)

日だまりの枯葉に埋もる福寿草
暖かいねもうすぐ春よ

千葉 良子
(東和)

北上の波間に漂う雁の群
羽ばたくしぶき旅路の備えか

丸山 米子
(東和)

はりつめし池の氷に影写し
鯉動きいるつめたかろうに

小野寺典子
(中田)

平昌五輪日本選手の活躍や
賞いし感動日々の生活に

石崎よしの
(米山)

書初めにひ孫今年もまた特選に
聞きて元気にわれはたびけり

千葉たかこ
(米山)

ふり袖に和むりビングいつまでも
見つめて居たい二十才の笑顔

三上久美子
(南方)

福寿草黄金の花色ほっこりと
樹下に優しく陽春知らせ

阿部 洋子
(津山)

情報場 広場 Information

募集

ホストファミリー バンク登録者を募集

市は、海外姉妹都市からの青少年訪問団や旅行者など、ホームステイ希望の外国人を受け入れる家庭の事前登録制度「登米市国際交流ホストファミリーバンク」登録者を募集しています。ホストファミリー（受入家庭）に登録して、身近な国際交流を体験しませんか。

【登録要件】次の全てに該当する家庭

①申請代表者が満18歳以上
②世帯人数が2人以上で、世帯全員の同意を得ている
③世帯構成員の1人以上が、登米市に居住、在勤または在学している
④食事や送迎など、基本的な日常生活の支援を無償で提供できる

**夜間納税相談窓口
(4月・5月分)**

【日時】4月26日(木)
5月31日(木)
いずれも午後8時まで

【場所】市役所迫庁舎(1階)
総務部収納対策課

【問い合わせ】
総務部収納対策課(徴収対策係)
☎0220(22)2169

的な日常生活の支援を無償で提供できる

【登録方法】登米市国際交流ホストファミリーバンク登録申請書(市民協働課備え付けまたは市ホームページからもダウンロード可)に必要事項を記入の上、市民協働課に提出してください。随時受け付けます

※本年6月上旬に、米国テキサス州サウスレイク青少年訪問団が来市予定です。こちらのホストファミリーを希望する場合は、4月13日(金)までに登録申請書をご提出ください

【受け入れまでの流れ】

①市から登録家庭へ受け入れ依頼通知を送付
②登録家庭は受け入れの可否を市へ連絡
③市で受け入れ可能家庭と調整し決定

【申し込み・問い合わせ】企画

【申し込み・問い合わせ】企画

部市民協働課(地域振興係)
☎0220(22)2173

タオル1枚の愛情 タオル帽子製作講習会

フェイスタオル1枚で出来るタオル帽子で、誰でも簡単に作ることができます。「岩手ホスピスの会」が、抗がん剤治療で脱毛した人たちのために考えたもので、この会の指導の下で製作しています。大切な誰かのために一緒に作りませんか。



【会場】登米市民病院地域医療連携センター(2階がん相談支援室)

【開催日】5月10日(木)、6月14日(木)、7月12日(木)、9月13日(木)、11月8日(木)、12月13日(木)

【時間】午後1時30分(2時間程度)

【参加費】千円(型紙代など)

【問い合わせ】登米市民病院地域医療連携室
☎0220(22)5511

国家公務員総合職・ 一般職採用試験を実施

●総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験)

【インターネット申込受付期間】3月30日(金)午前9時～4月9日(月)(受信有効)

【第1次試験日】4月29日(日)

●一般職試験(大卒程度試験)

【インターネット申込受付期間】4月6日(金)午前9時～4月18日(水)(受信有効)

【第1次試験日】6月17日(日)

※申し込み方法や受験資格などの詳しい内容は、人事院ホームページ、または左記にお問い合わせください

【問い合わせ】人事院東北事務局第二課(試験係)
☎022(221)2022

HP <http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyohm>

労働基準監督官 採用試験を実施

【受験資格】①昭和63年4月2日～平成9年4月1日生まれの人
②平成9年4月2日以降生まれで次に掲げる人(1)大学

生まれで次に掲げる人(1)大学

確かな技術で まかせて安心 広告

電気工事・オール電化工事・電気通信工事
太陽光発電設備工事・IH、エコキュート・消防設備工事・点検

有限会社 五島電機

登米市中田町宝江新井田字荒谷60-1
TEL.0220-34-3349 FAX.34-5792

エネルギーに夢をのせて 広告

KUMANEN
熊谷燃料住設株式会社

快適生活 創造企業
災害時安定供給施設

■アクアショップ KUMANEN ■BFC クマナン 【関連企業】
■コインランドリー 清潔空間 ■なごみの家きらり ■網ネオウィング

〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字北畝田 120 番 1
TEL.0220-22-2415(代) FAX.0220-22-6732
<http://www.kumanen.jp> E-mail:info@kumanen.jp

住宅入居者を募集	
募集する住宅	
市 営 住 宅	米山清水第一住宅2-33号 (米山町中津山字清水32番地2) ▶ 募集戸数 = 1戸(3DK) / 家賃月額 = 1万5700円 ~ 2万3400円 / 駐車場利用は1台まで
	米山西野第一住宅16号 (米山町西野字見通3番地1) ▶ 募集戸数 = 1戸(3DK) / 家賃月額 = 1万900円~ 1万6200円 / 駐車場契約なし
	津山平形住宅1-3号 (津山町柳津字平形75番地1) ▶ 募集戸数 = 1戸(3DK) / 家賃月額 = 1万4000円 ~ 2万800円 / 駐車場利用は1台まで
	津山宮町住宅1棟1号、同3号 (津山町柳津字黄牛田高畑22番地1) ▶ 募集戸数 = 2戸(3K) / 家賃月額 = 1万1100円~ 1万6600円 / 駐車場利用は1台まで
	石越駅前第二住宅9号 (石越町南郷字小谷地前126番地1) ▶ 募集戸数 = 1戸(3K) / 家賃月額 = 1万1700円~ 1万7500円 / 駐車場契約なし

【入居資格】 住宅に困っている世帯
 ※市営住宅は、低所得であることなどの入居要件があります。駐車場は、別途1台2千円かかります。詳しくは、建設部住宅都市整備課までお問い合わせください。
【申込期限】 4月6日(金) ※期限厳守
【申し込み】 各総合支所市民課、または建設部住宅都市整備課(市役所中田庁舎2階) ※郵送不可
【問い合わせ】 建設部住宅都市整備課(住宅整備係)
 ☎ 0220(34)2316

募集する住宅	
災 害 公 営 住 宅	東日本大震災により市内・市外で被災し、住宅を失い困っている人を対象に、災害公営住宅の入居者を募集します。 【所在地】 迫町佐沼字大綱407番地6、豊里町横町25番地1 【住宅名】 迫西大綱第二住宅9号(集合住宅平屋(一部2階建)、2DK)、豊里横町住宅9号(木造2階建3LDK) 【募集戸数】 それぞれ1戸 【有料駐車場】 1台まで 【対象】 ①住宅のり災程度が全壊、または全流失の世帯 ②住宅のり災程度が半壊、大規模半壊で解体を余儀なくされた世帯 ※入居資格やその他要件がありますので、詳しくはお問い合わせください。応募者多数の場合は、抽選となります。 【申込期限】 4月6日(金) ※期限厳守 【申し込み・問い合わせ先】 建設部住宅都市整備課(住宅整備係) ☎ 0220(34)2316

を卒業か、平成31年3月までに大学を卒業する見込みの人
 (2) 人事院が(1)に掲げる人と同等の資格があると認める人
【採用予定者数】 ▼労働基準監督A(法文系) ≡ 約210人 ▼労働基準監督B(理工系) ≡ 約70人
【インターネット受験申込受付期間】 3月30日(金) ~ 4月11日(水)(受信有効)
【インターネット申し込み専用URL】 <http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>
 ※インターネットでの申し込みだけ
【第1次試験日】 6月10日(日)
【問い合わせ】 宮城労働局総務部総務課(人事係)

0222(299)8833
国家公務員 国税専門官 採用試験を実施
【受験資格】 ①昭和63年4月2日 ~ 平成9年4月1日生まれの人 ②平成9年4月2日以降生まれで次に掲げる人(1) 大学を卒業か、平成31年3月までに大学を卒業する見込みの人(2) 人事院が(1)に掲げる人と同等の資格があると認める人
【受験申込受付期間】 3月30日(金) ~ 4月11日(水)
【受験申込方法】 インターネットでの申し込みだけ
【申し込み専用URL】 <http://www.jinji.go.jp/saiyo->

0222(263)1111
【第1次試験日】 6月10日(日)
【問い合わせ】 仙台国税局人事第二課試験研修係
【会場】 迫にぎわいセンター
【開催日】 4月9日(月)、5月14日(月)、6月11日(月)、7月9日(月)、9月10日(月)、10月15日(月)、11月12日(月)、12月8日(土)、平成31年1月21日(月)、2月18日(月)、3月11日(月)
【時間】 午後1時30分 ~ 3時
【参加費】 100円(お茶代)
【問い合わせ】 ホットとサロンとめ(鈴木)
 ☎ 070(2011)0928
 電話受付時間 / 午前9時 ~ 午後4時

がん患者や家族などの語りの場を開設
 がん患者やその家族などが、気楽にお茶や会話を楽しみながら、生活の工夫などを語り合える場「ホットとサロンとめ」を開いています。
 情報交換や交流を通じて悩みや不安を解消し、明るく前向きに自分らしく暮らせる機会にしませんか。時間内の入室や退室は自由ですので、気軽に参加ください。

DAIYU HOME CENTER
 季節の花苗・野菜苗
 大量入荷しました

毎月8のつく日 8日 18日 28日 + 毎週土曜日

税込3,240円以上お買上げで

ポイント 5倍

ダイユーエイト登米中田店内図 広告

ウジエスーパーさん
 マツモトキヨシさん
 薬王堂さん
 JAみやぎさん
 中田総合体育館
 登米市立宝江小学校

ヨークタウン内
 ダイユーエイト登米中田店

宮城県登米市中田町石森字駒牽400
 TEL 0220-23-9433
 営業時間 あさ8時 ~ よる8時まで

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

**農業・6次産業化実践科
受講生を募集**



三幸学園では、地域の特産物を活かした商品の開発・流通・販売まで、一連のビジネスを展開できる人材を育成しています。今回、関連分野への就職が実現することを目的に、職業訓練を実施します。

【訓練期間】5月31日(木)～9月28日(金)

【場所】飛鳥未来きずな高等学校(旧米山高校)

【受講料】無料(教科書代等は別途自己負担)

【募集期限】5月9日(水)まで

【定員】15人

【問い合わせ】学校法人三幸学園エクステンションセンター
担当 佐藤・高橋
☎ 02220(55)3776

**幻の「観音寺セリ」
栽培講習会参加者募集**

本市の伝統野菜である「観音寺セリ」を守り、生産量を拡大するために、栽培講習会を開催します。講習会終了後も、

積極的に観音寺セリを生産する意欲のある人の参加をお待ちしています。



【日時】平成30年4月～12月の年5回程度

【場所】迫町北方南観音寺地内のセリ田

【内容】セリ田の準備や種ゼリの定植、収穫など、実際にセリ田を使い作業をしながら、生産者から栽培方法を学びます

【参加費】無料

【募集人数】6人程度

【申し込み方法・期限】4月10日(火)まで、氏名、住所、電話番号、生年月日を電話、または

ファクシミリで申し込み

【申し込み・問い合わせ】産業経済部ブランド戦略室(ブランド戦略係)
☎ 02220(34)2549
FAX 02220(34)2801

市民の森林づくり

市有林借受者を再募集

市は、将来にわたって市有

ねんきんだより

**学生は納付を猶予
「学生納付特例制度」**

20歳以上になると、学生であっても国民年金に加入し、保険料を納付しなければなりません。しかし、学生は本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります。

対象者は、学校教育法に規定する大学(大学院)、短期大

学、高等学校、高等専門学校、専修学校および各種学校(修業年限1年以上である課程)に在学する学生などです。本人の前年所得が、次の計算式で計算した金額以下であることが条件です。

【所得の目安】118万円+(扶養親族等の数×38万円)
※詳しくは、年金事務所までお問い合わせください。

【問い合わせ】
▼古川年金事務所
☎ 02229(23)1200
▼市民生活部国保年金課(年金医療係)
☎ 02220(58)2166

林を適切に保全・管理するため、次世代に向けた森林整備を推進しています。

そこで、自ら森林づくりをし、大切に育てた木を使って、将来の家づくりなどに活用いただくことを目的に、「未来へつなぐ市民の森林づくり事業」として、市有林の貸し付けを実施します。

【対象者】森林づくりに意欲のある市民

【貸付地】津山町地内

【募集区画】10区画

【貸付面積】1区画当たり約1

【貸付料】1万円当たり年額3千円

【貸付期間】1伐採期(最長70年・収穫後に返還)

【造林樹種】スギなど

【申し込み方法】産業政策課に備え付けの申請書に、必要事項を記入の上、提出してください。申請書は、市公式ホームページからもダウンロードできます。申し込み多数の場合は、抽選により借受者を決定

【申込期限】4月27日(金)まで

【申込期限】4月27日(金)まで

株式会社 割烹くまがい ...働く会社... 法事・宴会 広告
中田中学校通り 0220-34-5002

株式会社 誠香社 葬儀からご法要までの一環システム
登米市内ホールは5ヶ所ございます。(お選びいただけます)
24時間受付 0220-34-4856(代表)

登米祝祭劇場 4月のイベント情報

開催日	内容	問い合わせ
1 ㊤ ～ 27 ㊤	● 薄屋茅功 小林功 作品展 【時間】午前10時～午後5時 (最終日は正午まで) 【会場】レストラン 【入場料】無料	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111
1 ㊤	● 萌翔チャリティーショー 萌乃会会主 披露公演 【開演】午前10時 【会場】大ホール 【入場料】1階指定:2500円 2階自由:2000円	萌乃会 ☎ 080(5228)4464
11 ㊤	● 中村文昭講演会 【開演】午後6時30分 【会場】大ホール 【入場料】大人:2000円	グローバルワーク ☎ 0220(23)7415
22 ㊤	● 箏・尺八 古典(古曲)研修会 【開演】午前10時30分 【会場】小ホール 【入場料】無料	皖山会 ☎ 0220(22)4409
28 ㊤ ～ 5/3 ㊤	● スタインウェイであそぼう 【時間】①午前9時②午前10時45分 ③午後1時30分 【会場】大ホール 【参加料】無料(4月1日㊤申し込み開始)	登米祝祭劇場 ☎ 0220(22)0111

※4月の休館日は、2日、9日、16日、23日、30日です。
※入場料は前売り価格です。

【申し込み・問い合わせ】産業経
済部産業政策課(林業振興係)
☎0220(34)2716

楽しく認知症対策
回想法講座説明会

昔のことを思い出して自由
に話をする「回想法」は、高齢
期のこころの健康を保ち、脳
や対人交流を活性化する可能
性があることで着目されてい
ます。

平成27年度、登米市に初め

てグループ回想法が導入され
た結果、参加者の認知機能全
般と記憶に改善がみられ、そ
の内容がアメリカ老年学会、
国際記憶学会などで発表され
ました。

このたび、グループ回想法
講座を登米市で再度開講を
予定しています。開講に当た
り、事前に詳細の説明会を実
施します。毎日をもっと楽し
く生き生きと過ごしたい人、
認知症について気になる人な
ど、友人などとお誘いあわせ

の上、気楽にご参加ください。
【内容】グループ回想法で楽し
く認知症対策
【日時】4月13日(金)午後2時
【場所】迫公民館(大会議室)
【締め切り】4月6日(金)
【申し込み】福祉事務所長寿介
護課(長寿社会係)
☎0220(58)5551
【問い合わせ】国立長寿医療研
究センター 長寿保健科学研
究室
✉hosokawa@ncgg.go.jp
●グループ回想法実施補助ス

スタッフを募集します
グループ回想法実施に伴い
補助員を募集します。
【募集人数】若干名
【業務】グループ回想法実施補
助
【期間】平成30年5月～12月
(非常勤)
【勤務時間】隔週月～金曜、午
前10時～正午(2時間×5日
＝10時間/1カ月)
【待遇】国立研究開発法人国立
長寿医療研究センター給与規
定による
【条件】登米市在住、あるいは
登米市での業務遂行が可能な
人
【応募資格】看護師、保健師、
介護福祉士、またはこれまで
医療・福祉・教育分野での業務
経験のある人
【提出書類】履歴書一通(書式
問わず。要写真貼付)
【応募締め切り】4月6日(金)
必着(メールでの提出不可)
【提出先】
〒474-18511 愛知県
大府市森岡町7丁目430番
地 国立研究開発法人国立長
寿医療研究センター 長寿保
健科学研究室
【問い合わせ】国立長寿医療
研究センター 長寿保健科学
研究室長 細川彩
✉hosokawa@ncgg.go.jp

<p>人と環境への 新しい優しさを 目指して お気軽にご相談下さい</p>	<p>株式会社 清建</p> <p>環境プロバイダ</p> <p>本社/〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字南駒木袋212-3 TEL.0220-22-7085 FAX.0220-22-7658</p>	<p>仙台(営)/〒981-3133 宮城県仙台市泉区中央3丁目181 泉ネットワーク・ビル2階 広告 TEL.022-797-5930 FAX.022-797-6980</p> <p>南三陸(営)/〒986-0782 宮城県本吉郡南三陸町入谷字大船沢313 TEL.0226-46-1027 FAX.0226-46-2122 URL www.kkseiken.co.jp E-mail info@kkseiken.co.jp</p>
	<p>有限会社 清建物流</p> <p>TEL.0220-22-9430 FAX.0220-21-1535 本社/〒987-0512 宮城県登米市迫町森字平柳14-1</p>	<p>有限会社 リースキン宮城</p> <p>TEL.0220-22-3431 FAX.0220-22-3495 〒987-0511 宮城県登米市迫町佐沼字 下田中53番地8</p>

登米市は自主財源を確保するため、広報とめに有料広告を掲載しています。

お知らせ

豊里地区で下水道計画説明会を開催

市は、特定環境保全公共下水道(豊里処理区)の都市計画決定の変更案(汚水の排水区域の変更)について、市民説明会を開催します。

【日時】4月6日(金)午後6時30分

【場所】豊里公民館(研修室)

【問い合わせ】建設部下水道課(施設整備係)
☎0220(34)2358

慣れや過信にご注意 農作業安全運動を展開

農作業安全の実践・確認項目
①機械や道具の点検・整備
②休憩の取れる無理のない作業
③農道を走行する際の路肩状況の確認
④農作業や機械作業に適した服装
⑤慎重な歩場への出入り、慎重なあぜ越え
⑥点検・調整時は、必ずエンジン停止
⑦道路走行に備え、反射板の装着

●**農作業後の泥汚れについて**
道路に落ちた泥は、通行の妨げになり、大変危険です。トラクターなどで農作業をした後

に、田や畑から道路へ出るときは、泥を落としてから走行するように心掛けましょう。

【問い合わせ】産業経済部産業政策課(産業政策係)
☎0220(34)2716

狂犬病予防集合注射を実施します

飼い犬の狂犬病予防注射を市内各町域で実施します。

犬の所有者には、年1回の狂犬病予防注射が法律で義務付けられていますので、必ず接種しましょう。新たに犬を飼われた場合は、会場で登録手続きの上、注射してください。

【日程】4月9日(月)～26日(木)

【新規登録料】1匹3千円

【予防注射代】1匹3100円

【問い合わせ】市民生活部環境課(生活環境係)
☎0220(58)5553

市内3団体が 宝くじ助成で備品を整備

コミュニティ協議会などの3団体が「平成29年度コミュニティ助成事業(宝くじ助成事業)」で、備品を整備しました。この事業は、(一財)自治総

合センターが宝くじ受託収入を財源に、コミュニティ組織などの健全な発展と、宝くじの普及広報を目的として実施しています。購入した備品などは次の通りです。

- ①日根牛地区コミュニティ推進協議会(登米町)／グラウンドゴルフセット、クイックテント
- ②米川の水かぶり保存会(東和町)／のぼり旗、桶
- ③米山丸山太鼓(米山町)／平太鼓、平太鼓伏せ台など



テレビ受信障害対策を 装った詐欺にご注意

総務省による周波数再編により、4月19日から試験電波が発射され、市内の一部地域で電波受信障害が発生し、テレビ放送が正常に視聴できない可能性があります。障害が発生する可能性のある世帯には、試験前にチラシ

が配布されます。また、特に可能性が高い世帯には、テレビ受信障害対策員証を携行した工事業者が直接ご家庭を訪問します。対策費用は全て「一般社団法人70MHz」利用推進協会」が負担することになっており、市民の皆さんに費用を請求することは絶対ありません。受信障害対策を装った詐欺行為、悪徳商法などには十分ご注意ください。

テレビ放送が正常に視聴できなくなった、不審な訪問があった場合には、左記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ】70MHzテレビ受信障害対策コールセンター
☎0120(700)012
午前9時～午後10時

南三陸町と登米市間で 新たなバスが運行

南三陸乗合バスは、東日本大震災後、南方仮設住宅と南三陸町を結ぶ目的で、町外仮設住宅循環線を運行してきましたが、仮設住宅が解消するため、運行を3月末で終了します。本年4月からは、志津川駅と登米市役所間を直通で結ぶ、通学支援を主な目的とした路線を別表のとおり運行します。

路線名：志津川登米線(仮称)

登米市方面	1便	2便
志津川駅発	6:20	18:45
登米市役所着	7:05	19:30

南三陸町方面	1便	2便
登米市役所発	7:15	19:40
志津川駅着	8:00	20:25

※土日祝日および3/26～4/7、7/28～8/18、12/27～1/7は運休

【問い合わせ】南三陸町企画課(企画情報係)
☎0225(46)1371

平成30年度は固定資産 評価替えの基準年度

土地と家屋の固定資産税評価額は、適正な時価にするため、3年ごとに見直しています。これを「評価替え」といいます。平成30年度はその基準年度で、賦課期日(平成30年1月1日)現在で、土地および家屋の評価額を見直しています。市内の地価は下落傾向にありますが、一部地域(住宅地など)では、東日本大震災の影響による土地取り引きの増加等により、地価が上昇しているため、評価額が上がる場合もあります。

来年度および再来年度は、原則として新たな評価はせず、評価額は据え置きとなりますが、地価が下落した場合

4月の納税

軽自動車税・全期

忘れずに納めましょう
納税は便利な口座振替で

納期限 / 5月1日(火)

登米市の人口・世帯数

(平成30年2月末現在)

地区	世帯数	人口(人)		
		男	女	計(前月比)
迫	7,619	10,104	10,674	20,778 (▲35)
登米	1,804	2,342	2,563	4,905 (▲7)
東和	2,388	3,188	3,310	6,498 (1)
中田	5,084	7,719	8,061	15,780 (▲4)
豊里	2,137	3,319	3,357	6,676 (▲11)
米山	2,817	4,529	4,713	9,242 (▲9)
石越	1,590	2,474	2,495	4,969 (▲13)
南方	2,671	4,233	4,430	8,663 (▲22)
津山	1,178	1,606	1,757	3,363 (▲12)
合計	27,288	39,514	41,360	80,874 (▲112)

※上記人口・世帯数には外国人住民も含まれています。

市内の交通事故発生状況

(平成30年2月末現在) ※佐沼・登米警察署調べ

	H30	H29	増減数
人身事故発生件数	20件	42件	▲22件
死者数	0人	1人	▲1人
負傷者数	23人	59人	▲36人
物損事故発生件数	351件	275件	76件

※平成30年1月からの延べ件数(前年同時期と比較)

警察署からのお知らせ

春を迎え、入学や異動などで新生活が始まる人も増えていきます。慣れない生活に浮き足立ち、交通事故などを起こさないよう、運転の際は「急がず」「あわてず」「時間にゆとり」を持ちましょう。春の交通安全運動は、4月6日から15日まで全国で実施されます。皆さん、交通安全にご協力をお願いします。

市内放射線の測定結果

測定日:平成30年3月12日 単位:マイクロシーベルト

測定地点	測定結果	天気
消防署	0.05	晴れ
消防署北出張所(石越)	0.05	晴れ
消防署東出張所(東和)	0.04	晴れ
消防署津山出張所	0.05	晴れ
消防署南出張所(豊里)	0.05	晴れ
消防署西出張所(南方)	0.04	晴れ

空間放射線量の測定結果はホームページに掲載およびメール配信しています。

は、土地の評価額を下落修正することがあります。

●**固定資産価格等縦覧帳簿縦覧のお知らせ**

平成30年度固定資産価格等縦覧帳簿は、次の通り縦覧できます。縦覧制度は、納税者が所有する固定資産の価格が適正かを判断するために、土地または家屋の価格を確認いただく制度です。

【期間】4月2日(月)～5月31日(木)。土曜・日曜・祝日を除く

【時間】午前8時30分～午後5時15分

【場所】各総合支所市民課

【縦覧できる人】固定資産税(土地・家屋)納税者。代理人の場合は委任状が必要です

【問い合わせ】総務部税務課(固定資産税係)
☎0220(22)2163

【問い合せ】農業委員会巡回事務所を**実施します**

3月下旬から6月上旬の巡回事務所は、次の日程で実施します。年間日程は各総合支所に掲示しています。

【場所・日程】

○豊里総合支所 / 3月28日(水)、4月27日(金)、5月29日(火) ○迫総合支所 / 3月29日(木)、5月1日(火)、5月30日(水) ○東和総合支所 / 3月30日(金)、5月2日(水)、5月31日(木) ○米山総合支所 / 4月3日(火)、5月2日(水)、6月

1日(金) ○石越総合支所 / 4月4日(水)、5月7日(月)、6月4日(月) ○登米総合支所 / 4月5日(木)、5月8日(火)、6月5日(火) ○南方総合支所 / 4月6日(金)、5月9日(水)、6月6日(水)

※開設時間は午前9時30分～11時30分。津山地区は登米総合支所で受け付けます。

【問い合わせ】農業委員会事務局(農地管理係)
☎0220(34)2317

春をめぐる登米無料周遊バスで桜めぐりを

みなみかた千本桜や長沼フートピア公園など、市内の春の名所を中心に、道の駅三

相 談

滝堂など登米市内を周遊するバスを運行します。

【日程】4月14日(土)、15日(日) 21日(土)、22日(日) ※要予約

【予約・問い合わせ】登米市観光物産協会
☎0220(52)4648

一人で抱え込まないで 多重債務者無料法律相談

【日時】4月27日(金)午後1時15分～4時15分

【場所】迫にぎわいセンター

【担当】開発健次(弁護士)

【相談専用電話】
☎0220(34)2308

【相談料】無料(要電話予約)

【問い合わせ】産業経済部商業観光課(商業振興係)
☎0220(34)2734

土地家屋調査士会による 無料相談のご案内

【日時】4月7日(土)午前9時30分～正午

【場所】迫公民館

【相談内容】土地の境界や面積を知りたい、建物を建築・増築した後の登記手続きを知りたいなど

【申し込み・問い合わせ】宮城県土地家屋調査士会登米支部長(千葉三郎)
☎0220(55)2032 (FAX兼用)

「中学でも全国へ」

第16回KENKO CUP
全国ジュニアソフトテニス大会
ベスト8 宮城県A 菅原茉倫

Sugawara Marin

2005年5月13日生まれ、南方町北本郷、東郷小卒。姉と兄の影響で、小1でソフトテニスを始め、南方ジュニアソフトテニススポーツ少年団に入団する。入団後すぐに才能が開花し、小2で県内のトップに立ち、宮城県の柱として同年代をリードしてきた。身長145㌢。父、母、姉、兄の5人家族。



菅原が所属する「南方ソフトテニススポーツ少年団」。週2日、仲間と共に切磋琢磨している。

昨年は予選で負けて、決勝トーナメントに進めず悔しい思いをしました。チーム全員で『絶対に上位入賞しよう』って約束していたから、本当にうれしいです」と、瞳を輝かせる菅原。

第16回KENKO CUP全国ジュニアソフトテニス大会(以下、ケンコーカップ)は2017年12月23日から25日まで、埼玉県熊谷市の彩の国くまがやドームで開かれ、宮城県Aチームは8強入りした。

ケンコーカップは、全国から選抜チームが集まり団体戦で競われる。大会は、各予選リーグに4チームが振り分けられ、上位2チームが決勝トーナメントに進出し、下位2チームが下位トーナメントに回る。試合は3組の点取り戦。宮城県選抜は昨年、下位トーナメント4強を賭けて青森県選抜と対戦した。菅原は、本年度のジャパンジュニアカップU14シングルズで準優勝した天間ペアに勝利するも、チームは1-2で敗退。選手、関係者共に「上位進出」に強い思いを持っていた。

予選リーグ1試合目、東松山ジュニアテニススポーツ少年団(埼玉)と対戦。菅原ペアは、順当に実力を発揮し勝利。チームも、3-0で勝利を収めた。2試合目のもぐらクラブ(千葉)も3-0で勝ち、1位突破を賭けて和歌山県Aと対戦。和歌山県は全国トップレベルの強豪だ。

菅原は小4からペアを組んでいる

仙台長名ヶ丘の安曇桃花と2組目に登場。1組目は宮城が勝ち、菅原・安曇組が勝てば1位通過が確定する。相手は一番手のペア。大会中、対戦相手の試合を分析していた菅原は「隙がなく強い相手。厳しい試合になる」と予想していた。善戦したが、最後の一手が出ず惜敗。チームも1勝2敗で予選は2位となった。全国トップクラスの相手とはいえ、悔しさをあらわにする菅原。トーナメントでのリベンジを誓った。

決勝トーナメントは、1回戦を順当に勝ち上がり、2回戦は南大師ジュニア(神奈川)と対戦。南大師は関東の強豪で、今大会も昨年度の優勝チームを破り波に乗っている。1勝1敗で菅原・安曇ペアに全てを託された。堂々とした戦いぶりで、終始相手を圧倒、8強入りを決めた。

準

々決勝は東北王者の山形県選抜Aと激突。山形とは、年に何度も練習試合や合同合宿などで顔を合わせ、お互いを知り尽くしている。

1組目が完敗し、後のない状況で菅原に出番が回ってきた。相手は東北2位の滝口・氏家ペア。試合前、いつものように乱打で相手の様子を探る。一人が足を負傷していることに気付いた。ペアの坂井里帆(仙台)と、「コートセンターにバックハンド狙い」を徹底することに。作戦が当たり、1ゲーム目を取り先制する。

2ゲーム目は相手が粘りを見せ、ゲームカウント1-1に。3ゲーム

目、相手は菅原を狙ってきた。それでも菅原・坂井は動じない。ミスすることなく、徹底的にセンターへ打ち返し、3ゲーム目を奪い返し2-1とリーチをかけた。4ゲーム目は、センター返しだけでなく、前後に揺さぶりをかけ相手を手玉に取り、見事東北2位ペアを撃破した。チームも勢いづいたが、3組目が接戦の末、東北3位ペアに破れ8強で終わった。敗れたとはいえ、全力を尽くしての8強入りに、選手、関係者全員が胸を張った。

菅

原のテニス人生は小1から始まった。姉と兄が南方ソフトテニススポーツ少年団で活動しており、気付けばテニスラケットを握っていた。類いまれなテニスセンスで、小3で小4以下の全国小学生選手権大会県予選で優勝するなど、すぐに頭角を現した。

父であり、コーチである菅原賢さんは「分析能力が高く、プレーやゲームを頭の中で組み立てられ、テニス脳が賢い。ショットのコントロールがよく、誰が相手でも物怖じせず、自分のテニスを貫く」と目を細める。

東郷小を卒業し南方中に進学、今後もテニス続ける。南方中は東北トップレベルの強豪校で、菅原があげられている白鳥和(和歌山)は「和先輩たちと練習することでもっと上達できます。団体で全国を目指します」とにっこり。南中女子テニス部から目が離せない。

ときめき人

Tokimeki bito



好みは十人十色 人に寄り添い 人に向き合う 若きオーナーシェフ

追町・上舟丁

佐藤 大典さん

さとう・だいすけ
1980年生まれ 血液型/A型

Profile

1999年、佐沼高卒業後、東北工業大へ進学。大学卒業後、仙台市内のワインバーに就職し、15年間勤務。09年、ワインソムリエの資格を取得。昨年独立し、念願のオーナーシェフに。



登米市追町佐沼内町63番地4
【連絡先】0220(22)5028

「『こんな店がずっと欲しかったの』と言われた時はたまらなかった」と目じりを下げる「ピストロ・ヴァンダンジュ」のオーナー、佐藤さん。

「市内産食材のフレンチと、厳選したワインを楽しんでほしい」と、2017年4月にオープンした。この道に進んだきっかけは、大学時代のアルバイト。所属したサークルは、仙台ワインバーの名店「Danae」に、代々アルバイトを送り込んでいた。その年は、たまたま佐藤さんが手を挙げた。バイト先で出会った「マリアージュ」に衝撃を受けた。「マリアージュ」とは、料理とワインをうまく組み合わせること。同じワインでも、料理との組み合わせで味わいは全く違った。

「ワインバーと建築士、カタチは違えど、お客さ

んの求める組み合わせを提供するのは同じ」と、大学卒業後はそのまま Danae に就職した。

就職直後に状況が一変、店の黒柱、オーナーの息子が突然亡くなった。「自分に名店の味と技術が継承できるのだろうか」。見よう見まねで料理を作り、ワインを勧めた。常連から「こんなじゃない」と何度もダメ出し。

うまくいかないある日、オーナーの奥さんの接客を見て気付いた。「好みは一人一人違う。料理の味も、ワインの組み合わせも、人によってさじ加減が必要」。大切なのは客に向き合うこと。

「Danaeでは大切なことを教えてもらった。自分も古里で愛される店を作っていきたい」一。

古里で、客と向き合い続ける覚悟はできている。

編集後記

▼県内市町村の広報担当者研修会に参加した。講師は「スキルアップも大切だが、担当者同士が連携、切磋琢磨することが県全体のレベルアップにつながる」と語っていた。講師が「円」になって頑張っていた。講師が「円」になって頑張っていた。

(及川)

▼3月は出会いと別れの季節ですね。ときめき人の佐藤さんは、アルバイト先のオーナーの奥さんとの出会いが、人生の転機になったと話していました。人との出会いで、自分が変われるのは幸せなことだと思います。私もこの仕事を通して、多くの人に出会い変わっていきたくです。(千葉)

▼東日本大震災から7年がたちました。あの日、あの時のことは忘れられません。今月号では「地域包括ケアシステム」について、地域のつながりを紹介しました。よく例えられるのが、震災時の支え合い。また春が来ます。絆をもとに、また新しいつながりが広がってほしいと願います。(伊藤)



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)

<https://mail.cous.jp/tomecity/>

